

コンパクトルーティングスイッチャー

Gen シリーズ

WEB 設定

取扱説明書

Ver 1.08

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。


警告
■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
 このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
 本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。


■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。


■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
 落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、
 落とし込んだりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
 万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
 コンセントから抜いてください。


■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
 機器を改造しないでください。 火災・感電の原因となります。


■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
 火災・感電・故障の原因になります。


■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。


■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。


■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
 電源ケーブルを熱器具に近づけない。 火災・感電の原因となります。


■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。


■ 機器の上に小さな金属物を置かない

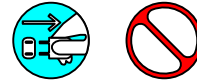
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
 から抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。



注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。



■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
 湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。



■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。



■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。



■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。



■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
 本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
 海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	7
2. 特長.....	7
3. 各種設定.....	7
3-1. システム要件.....	7
3-1-1. 対応ブラウザ.....	7
3-1-2. ネットワーク環境.....	8
3-2. 起動.....	8
3-3. ビデオ系ルーターの設定.....	10
3-3-1. ビデオ系ルーター:入力ステータスタブ.....	11
3-3-2. ビデオ系ルーター:クロスポイントタブ.....	12
3-3-3. ビデオ系ルーター:プレビュータブ.....	14
3-3-4. ビデオ系ルーター:一般タブ.....	15
3-3-5. 共通ラベルタブ.....	19
3-3-6. 共通ラベルタブ: Source/Destination Labels.....	20
3-3-7. ラベルタブ: Source/Destination Label Abbreviations.....	21
3-3-8. インビットタブ.....	22
3-3-9. サルボタブ.....	23
3-3-10. ビデオ系ルーター: SG タブ.....	25
3-3-11. ビデオ系ルーター: マルチビュータブ.....	27
3-3-12. GPIO タブ.....	30
3-3-13. マトリックス分割タブ.....	37
3-3-14. NS-BUS タブ.....	38
3-3-15. 時刻タブ.....	40
3-3-16. ネットワークタブ.....	42
3-3-17. アップデートタブ.....	43
3-3-18. 製品情報タブ.....	44
3-4. オーディオ系ルーターの設定.....	45
3-4-1. オーディオ系ルーター:ステータスタブ.....	45
3-4-2. オーディオ系ルーター:入力ステータスタブ.....	46
3-4-3. オーディオ系ルーター:一般タブ.....	47
3-4-4. オーディオ系ルーター: SG タブ.....	48
3-4-5. オーディオ系ルーター:レート変換タブ.....	49
3-5. コントロールパネルの設定.....	50
3-5-1. 一般タブ.....	50

3-5-2.	接続先タブ	53
3-5-3.	ラベルタブ	55
3-5-4.	ボタンタブ	56
3-5-5.	サルボタブ	59
3-5-6.	時刻タブ	60
3-5-7.	ネットワークタブ	60
3-5-8.	アップデートタブ	60
3-5-9.	製品情報タブ	60
4.	お問い合わせ	61

1. 概要

コンパクトルーティングスイッチャーGenシリーズは、構成や設定の確認、変更、操作をWebブラウザで行うことができます。

2. 特長

- ・Genシリーズのルーター又はコントロールパネルのステータス表示、設定確認・変更がWebブラウザで可能
- ・ブロードキャストドメインに接続されているすべてのルーターとコントロールパネルを自動検出可能
- ・SNMP TRAPの通知／非通知を項目ごとに設定可能

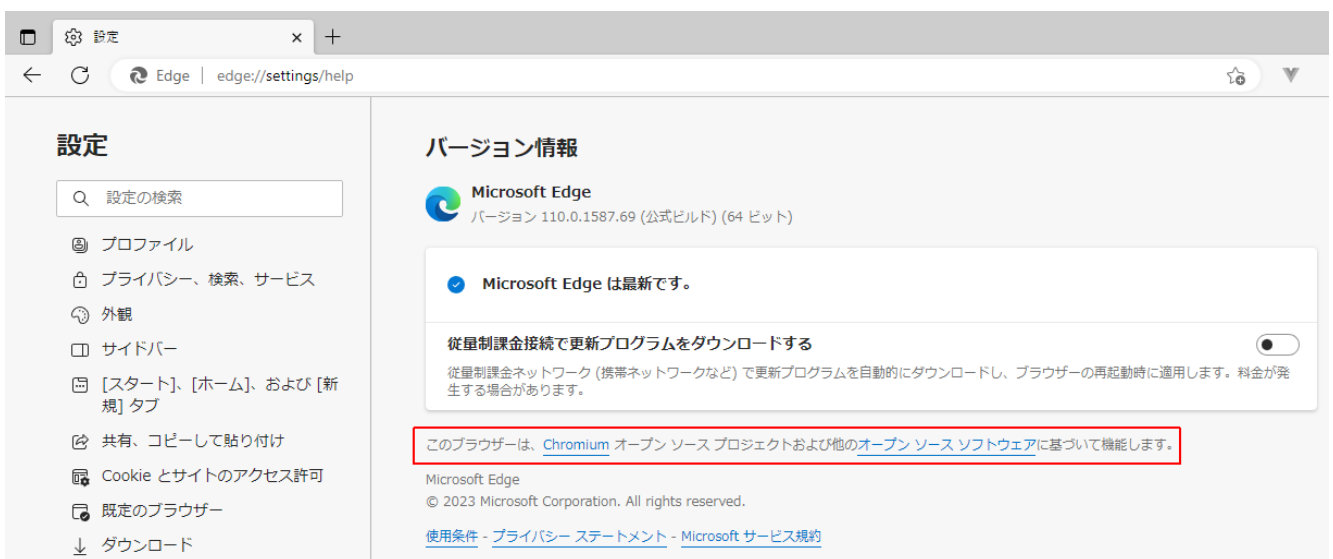
3. 各種設定

3-1. システム要件

3-1-1. 対応ブラウザ

Google Chrome および Microsoft Edge に対応しています。

Microsoft Edge に関しては、バージョン情報表示で「このブラウザは Chromium オープンソースプロジェクトおよび他のオープンソースソフトウェアに基づいて機能します。」と記述があるものが対象です。



Microsoft Edge バージョン情報確認

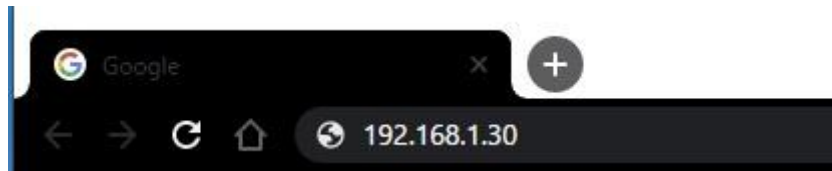
3-1-2. ネットワーク環境

MG-LAN または、MG-LAN に接続されたルーターにブラウザが動作する PC を接続します。

3-2. 起動

ブラウザで IP アドレスを入力して、Gen に接続します。接続されているルーターの 1 つの IP アドレスを指定してください。

複数のルーターを接続する場合には、個別に接続し、IP アドレスを変更後、イーサネットスイッチで接続してください。



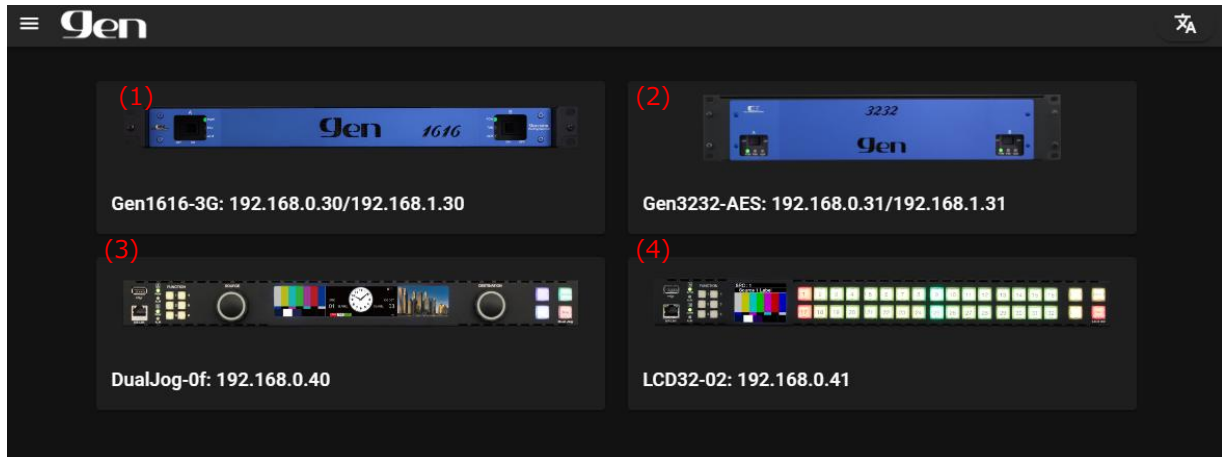
Gen Web アプリ起動方法

Gen に接続すると、CP-LAN に接続しているルーターとコントロールパネルの一覧が表示されます。

ルーターの IP アドレス出荷時設定は、Model ごとに異なり、SDI ルーターは"192.168.1.30"、AES ルーターは"192.168.1.31"です。

Model	MG-LAN 初期 IP アドレス
GenXXXX-3G、GenXXXX-12G、GenXXXX-12G-Plain	192.168.1.30
GenXXXX-AES、GenXXXX-AES-Plain	192.168.1.31

※XXXX は 1616、2424、3232、4848、6464 を表します。



接続機器一覧画面例

上記例では、2 台のルーターと 2 台のコントロールパネルが検出されています。

- (1) ビデオ系ルーター本体: Gen1616-3G
- (2) オーディオ系ルーター本体: Gen3232-AES
- (3) コントロールパネル: DualJog (コントロールパネル名称 DualJog-0f)
- (4) コントロールパネル: LCD32 (コントロールパネル名称 LCD32-02)

(1),(2)のルーター本体は CP_LAN、MG_LAN の 2 系統があり CP_LAN、MG_LAN の順に表示されます。

(1)Gen1616-3G を例にすると 192.168.0.30 が CP_LAN、192.168.1.30 が MG_LAN の IP アドレスです。

(3),(4)のコントロールパネルは CP_LAN の IP アドレスを意味します。コントロールパネル名称は、モデル名+MAC アドレス下 2 桁が出荷時設定です。

各々の画像をクリックすると、クリックしたルーター、コントロールパネルの設定画面に遷移します。

3 - 3. ビデオ系ルーターの設定

画面上部に設定項目ごとのタブが表示され、タブを選択することにより各種設定を行います。

ステータスタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



12V出力		出力電圧(V)
電源 A	OK	11.88
電源 B	OK	11.95
ステータス		回転数(rpm)
FAN A1	OK	7500
FAN B1	OK	7680
ステータス		温度(°C)
CPU温度	OK	52
FPGA温度	OK	66

ビデオルーター：ステータスタブ画面

- ・電源 A,B：電源 A,B の 12V 出力の状態と出力電圧値を表示します。
- ・FAN A1,B1：回転状態と回転数を表示します。FAN の数は、モデルにより異なります。
 - A1: 電源 A(左側電源) 1 つ目のファン
 - A2: 電源 A(左側電源) 2 つ目のファン
 - B1: 電源 B(右側電源) 1 つ目のファン
 - B2: 電源 B(右側電源) 2 つ目のファン
 - C: 筐体中央ファン
- ・CPU 温度：搭載 CPU の温度状態と温度を表示します。
- ・FPGA 温度：制御 FPGA (搭載デバイス) のチップ内温度の状態と、温度を表示します。

正常時は背景が緑で OK、異常時は背景が赤で NG と表示されます。

モデルごとのファン構成は以下の通りです。

Model	A1	B1	A2	B2	C
AES モデルすべて	×	×	×	×	×
Gen1616-3G/12G Gen1616-12G-Plain Gen3232-12G-Plain	○	○	×	×	×
Gen2424-3G/12G Gen3232-3G/12G	○	○	○	○	×
Gen4848-3G/12G Gen6464-3G/12G	○	○	×	×	○

3-3-1. ビデオ系ルーター:入力ステータスタブ

入力ステータスタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



入力ステータスタブ画面

リファレンス入力、ソース入力の状態を表示します。リファレンス入力は入力ビデオフォーマットを表示します。それぞれ、信号にロックした場合は Lock、ロックできなかったときは Unlock と表示されます。

ソース入力は、SDI 信号の Lock/Unlock 状態と入力ビデオフォーマットを表示します。

SDI 信号の検出は、最大 1 分程度更新が遅れることがあります。

3-3-2. ビデオ系ルーター:クロスポイントタブ

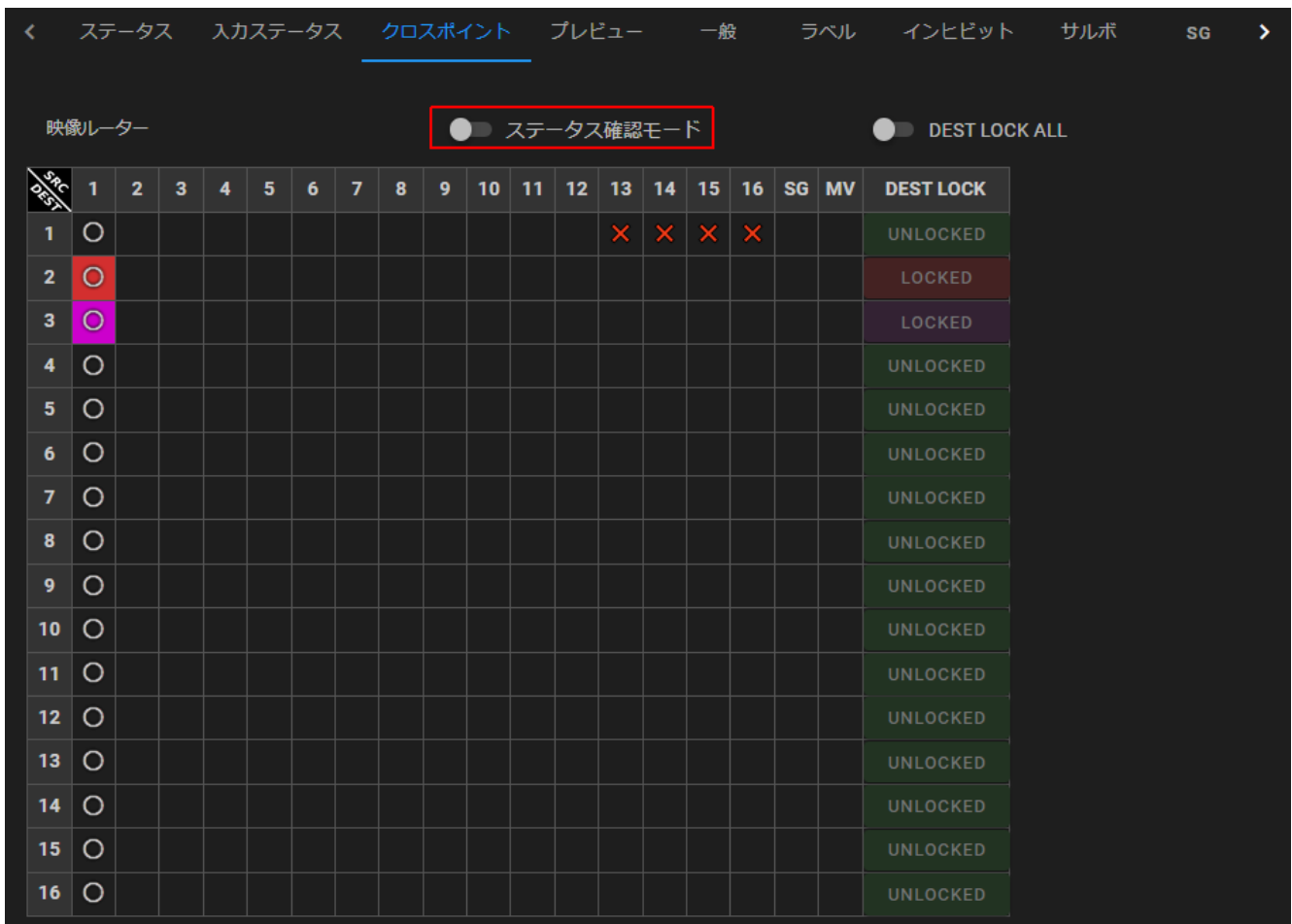
クロスポイントタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

・ステータス確認モード:

現在のクロスポイントの選択状態を確認できます。

クロスポイント設定を変更する場合は、スイッチをクリックして編集モードにしてください。

ステータス確認モードは現在のクロスポイント設定は白○、インビッド設定されている SRC は赤×、DEST_LOCK_ALL は背景赤、DEST_LOCK_OTHER は背景ピンクで表示されます。



映像ルーター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	SG	MV	DEST LOCK
1	○												×	×	×	×			UNLOCKED
2	○																		LOCKED
3	○																		LOCKED
4	○																		UNLOCKED
5	○																		UNLOCKED
6	○																		UNLOCKED
7	○																		UNLOCKED
8	○																		UNLOCKED
9	○																		UNLOCKED
10	○																		UNLOCKED
11	○																		UNLOCKED
12	○																		UNLOCKED
13	○																		UNLOCKED
14	○																		UNLOCKED
15	○																		UNLOCKED
16	○																		UNLOCKED

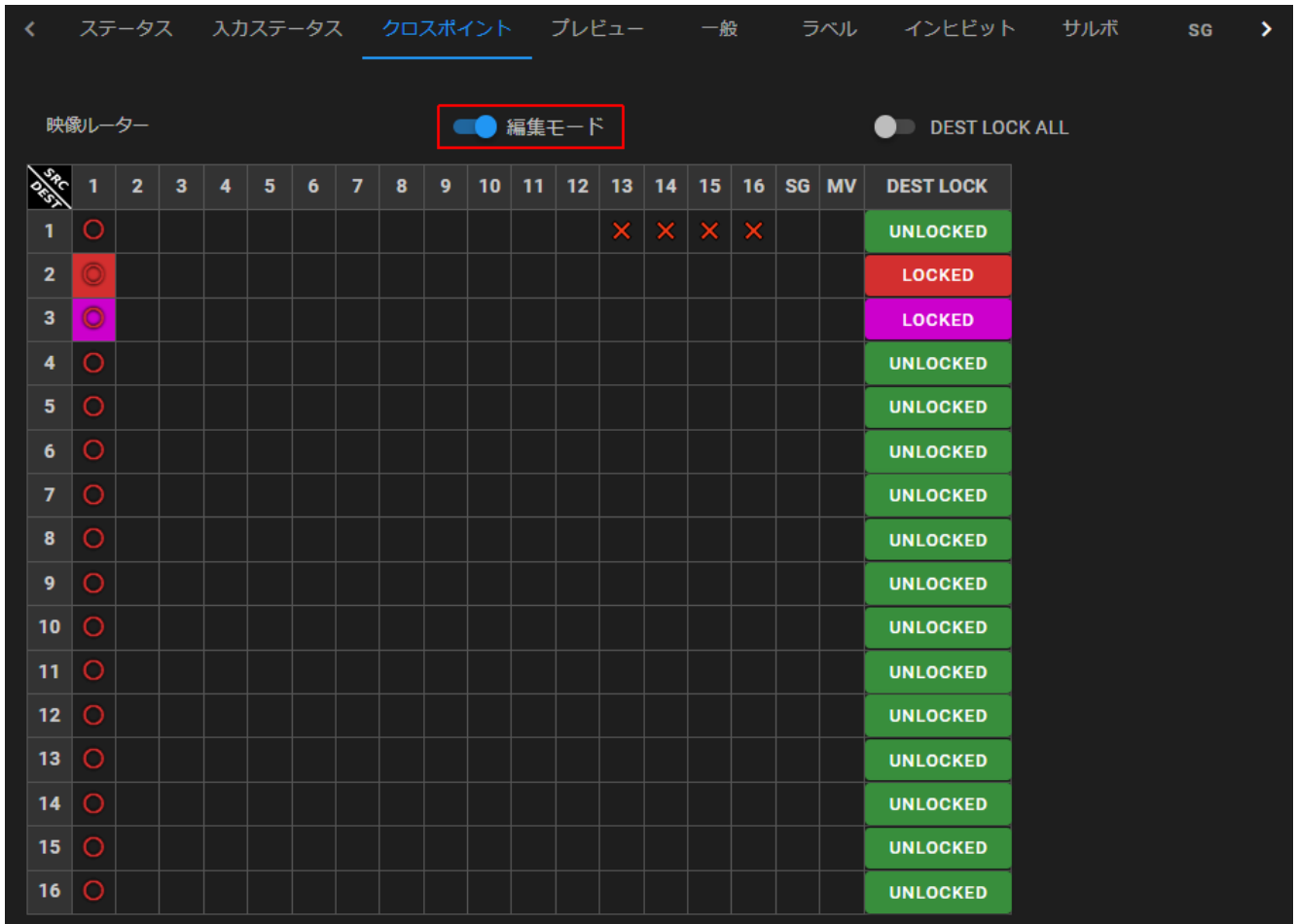
クロスポイントタブ ステータス確認モード画面

・編集モード

編集モードのときに任意のクロスポイントをクリックすると、クロスポイント設定が実行されます。

クロスポイント表示は赤○で表示されます。

ただし、インビット設定の赤×、DEST_LOCK_ALL の赤背景は変更できません。



クロスポイントタブ ステータス編集モード画面

・DEST LOCK ALL/DEST LOCK OTHER ボタン

・クロスポイント表示右のボタン

機能名	背景色	
UNLOCKED	緑	Web/RS-232C、すべてのコントロールパネルからクロスポイント切替ができます
DEST LOCK ALL	赤	Web/RS-232C、すべてのコントロールパネルからクロスポイント切替を禁止します
DEST LOCK OTHER	ピンク	DEST_LOCK_OTHER をかけたコントロールパネルからのみクロスポイント切替ができます※

※ Web から DEST_LOCK_OTHER を設定した場合、クロスポイント切替は Web/RS-232C からのみクロスポイント切替が可能です。
RS-232C のみのクロスポイント切替を行う場合、DEST_LOCK_OTHER を設定後ステータス確認モードに変更してください。

3-3-3. ビデオ系ルーター:プレビュータブ

プレビュータブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



プレビュータブ画面

・種別：表示するプレビューをソースかデスティネーションかを選択します。

・番号：

種別がソースの場合クロスポイント入力と SG(内部信号発生機)、MV(マルチビュー)、デストの場合クロスポイントが選択しているソース画像をプレビューできます。

プレビュー機能を有効にするためには、ビデオ系ルーター:一般タブで**プレビュー可能なデバイス**に「**Web Browser**」が選択されていることを確認してください。

また、プレビュー可能なデバイスは Web Browser を含めて 4 台であるため、複数台のコントロールパネルを接続する場合は注意してください。

3-3-4. ビデオ系ルーター:一般タブ

一般タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



一般タブ画面 1

・保存ボタン :

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン :

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・ビデオ系ルーター:一般タブ: ルーター名称

ルーター名称が設定できます。初期設定値は、ルーターモデル名 + MAC アドレス下位 2 桁です。

・ビデオ系ルーター:一般タブ: ルーターID

ルーターの ID を設定します。Gen システムでのルーターID は、ルーターの識別子として使用されますので、同じネットワーク内では、重複しない ID を設定します。設定できる ID は 0~5 で、初期設定は 0 です。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

工場出荷時のルーターID は、以下の通りです。

Model	初期ルーターID
GenXXXX-3G、GenXXXX-12G、GenXXXX-12G-Plain	0
GenXXXX-AES、GenXXXX-AES-Plain	1

※XXXX は 1616、2424、3232、4848、6464 を表します。

・ビデオ系ルーター：一般タブ：システムフォーマット

リファレンスに同期して切り替える時に、どのフォーマットのタイミングで切り替えるかを設定します。

システムフォーマットと同じフォーマットの信号は、スイッチングポイントで切り替わりますが、違うフォーマットはスイッチングポイント外で切り替わります。設定できるフォーマットは、以下の通りです。

初期設定は、**1080I59** です。

525I59	625I50	720P60	720P59	720P50	720P30	720P29	720P25
720P24	720P23	1080I60	1080I59	1080I50	1080P30	1080P29	1080P25
1080P24	1080P23	1080PSF30	1080PSF29	1080PSF25	1080PSF24	1080PSF23	1080P60A
1080P59A	1080P50A	1080P60B	1080P59B	1080P50B			

・ビデオ系ルーター：プレビュー可能なデバイス

ビデオ系ルーター：プレビュータブや、LCD 搭載のコントロールパネルにプレビュー出力を許可する場合対象のデバイスを許可してください。

プレビューデバイスは最大 4 台までです。例では、WebBrowser、DualJog-0f、LCD32-02 の 3 台が許可されています。

※コントロールパネル名称が重複したコントロールパネルが同一ネットワーク内に複数存在する場合、正しく表示されない場合があるため、出荷時のコントロールパネル名称はモデル名 + MAC アドレス下 2 桁としています。

SNMPコミュニティ名 public ×

SNMPマネージャ設定

IP Address	Port	Trap OID Type
0.0.0.0	162	<input type="radio"/> 異なるOID
0.0.0.0	162	<input type="radio"/> 異なるOID

SNMPトラップ出力設定

ソース	トラップ出力
1: Source01	<input checked="" type="checkbox"/>
2: Source02	<input checked="" type="checkbox"/>
3: Source03	<input checked="" type="checkbox"/>
4: Source04	<input checked="" type="checkbox"/>
5: Source05	<input type="checkbox"/>
6: Source06	<input type="checkbox"/>
7: Source07	<input type="checkbox"/>
8: Source08	<input type="checkbox"/>
9: Source09	<input type="checkbox"/>
10: Source10	<input type="checkbox"/>
11: Source11	<input type="checkbox"/>
12: Source12	<input type="checkbox"/>
13: Source13	<input type="checkbox"/>
14: Source14	<input type="checkbox"/>
15: Source15	<input type="checkbox"/>
16: Source16	<input type="checkbox"/>

一般タブ画面 2

・ビデオ系ルーター：SNMP コミュニティ名

SNMPv1 のコミュニティ名を設定します。デフォルトは“public”です。

・ビデオ系ルーター：SNMP マネージャー設定

SNMP マネージャーの設定を最大 2 箇所まで設定できます。

・IP Address

SNMP トラップ送信先のアドレスを設定します。“0.0.0.0”の場合、無効アドレスと判断し、トラップ送信しません。

・ポート

SNMP トラップ送信先のポート番号を設定します。

・Use Same Trap OID

「同じ OID」を選択したとき、正常/異常に関わらず、同じ Trap OID(3000 番台)を使用します。

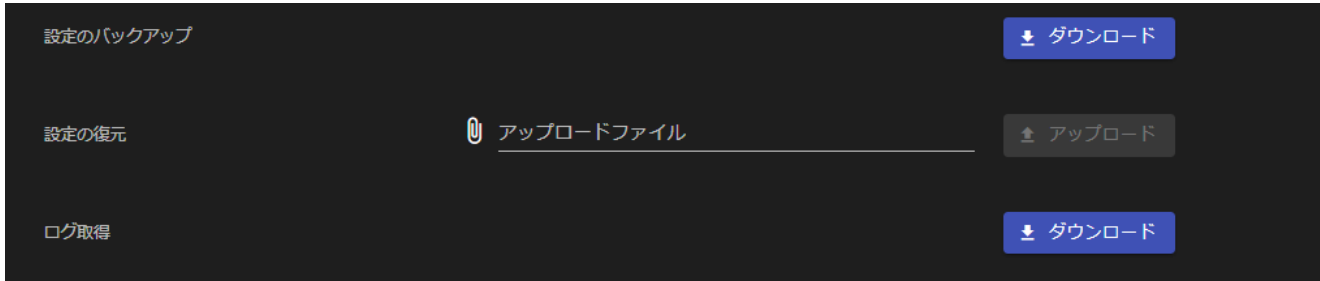
「異なる OID」を選択したとき、正常(1000 番台)、異常(2000 番台)で異なる Trap OID を使用します。

Trap OID に関しては、MIB ファイルを参照してください。

・ビデオ系ルーター：トラップ出力設定

入力ソースごとに Lock/Unlock に状態が変わったときにトラップを送信するかどうかを設定します。

チェックをつけた場合、状態が変わったときにトラップを送信します。図ではソース 1～4 の状態が変わったときにトラップを送信します。



一般タブ画面 3

・ビデオ系ルーター：設定のバックアップ

現在のルーター設定を保存します。

・ビデオ系ルーター：設定の復元

設定のバックアップで保存されたファイルを用いて、設定を復元します。ファイル選択後、アップロードボタンを押してください。

・ビデオ系ルーター：ログ保存

入力信号のステータス変更、クロスポイント変更などのログを取得します。ログはテキストファイルです。

ログファイル名は モデル名-シリアル番号-年月日-時分_event.txt の形で保存します。

ログは、日付、種別、ターゲット、状態の順に表示します。

種別は info/normal/warn/ALARM の 4 種類です。

ターゲットは input(入力)、ref、Fan、power(電源)、xxpt(クロスポイント切替)などです

状態は入力の場合、フォーマット、クロスポイント切替の場合コマンド文字列です。

ログ例

```

2022-11-11 11:59:39.361814, normal , input 1, lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.361970, normal , input 3, lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.362049, normal , input 4, lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.394531, normal , ref sdi , lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.394806, ALARM , power B, NG
2022-11-11 12:00:10.499126, info , [CEBUS] xxpt, 192.168.0.40, {"crosspoints": [[2, 0]], "element": 1, "layer_id": 0, "router_id": 0}
2022-11-11 12:00:10.585903, info , [NSBUS] RunNotify() MtxNotifyXptChanged
2022-11-11 12:00:25.211098, normal , power B, OK
2022-11-11 12:09:41.925487, ALARM , input 1, UNLOCK , No Signal
2022-11-11 12:10:13.118431, normal , input 1, lock , 1080I59
  
```

3-3-5. 共通ラベルタブ

ラベルタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



ラベルタブ画面

SDI-layer1:

レイヤー名称です。名称の変更はマトリクス分割タブで行います。

工場出荷時設定は SDI ルーターの場合 SDI-layer1、AES ルーターの場合 AES-layer1 です。

・保存ボタン :

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン :

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・概略ラベルコピーボタン :

ボタンを押すと、Source/Destination Label Abbreviations を、Source/Destination Labels にコピーします。

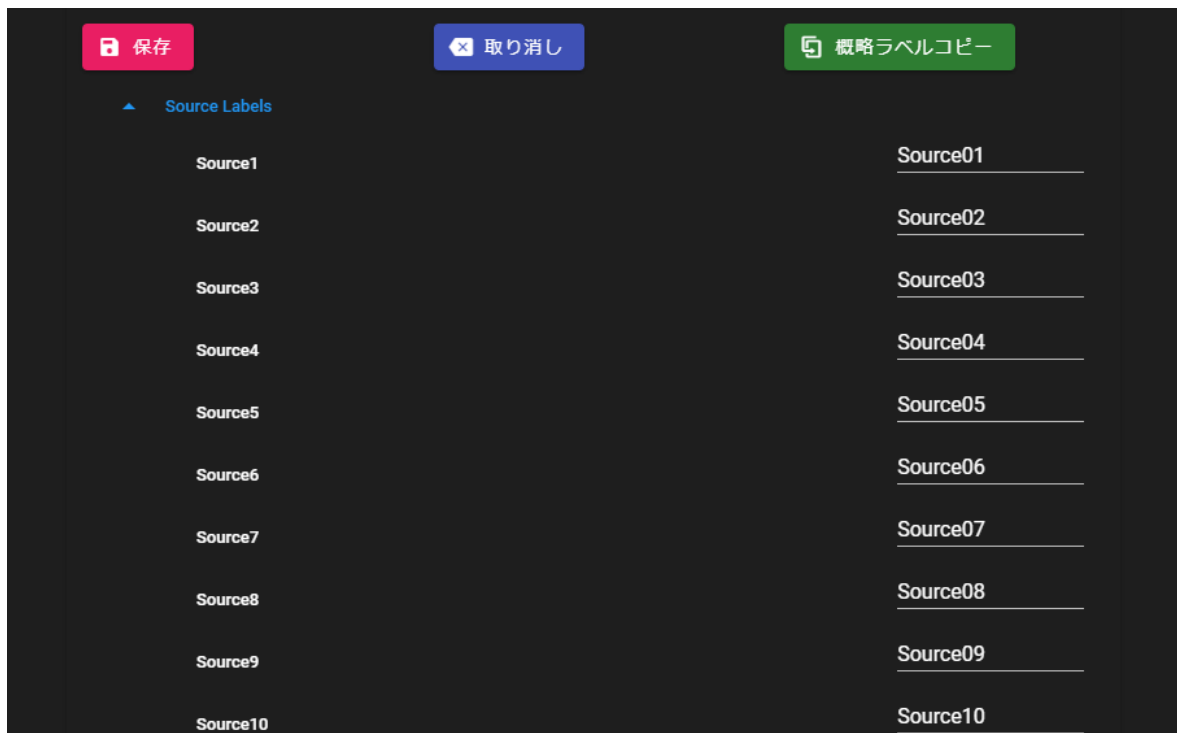
コピーを反映させるためには保存ボタン、やめるときは取り消しボタンを押下してください。

※ Source Label Abbreviation、Destination Label Abbreviation を設定した後、保存ボタンを押下しないと

概略ラベルコピーボタンを押下してもコピーされません。

3-3-6. 共通ラベルタブ : Source/Destination Labels

Source/Destination Labels をクリックするとソース/デストラベル名の設定画面が表示されます。



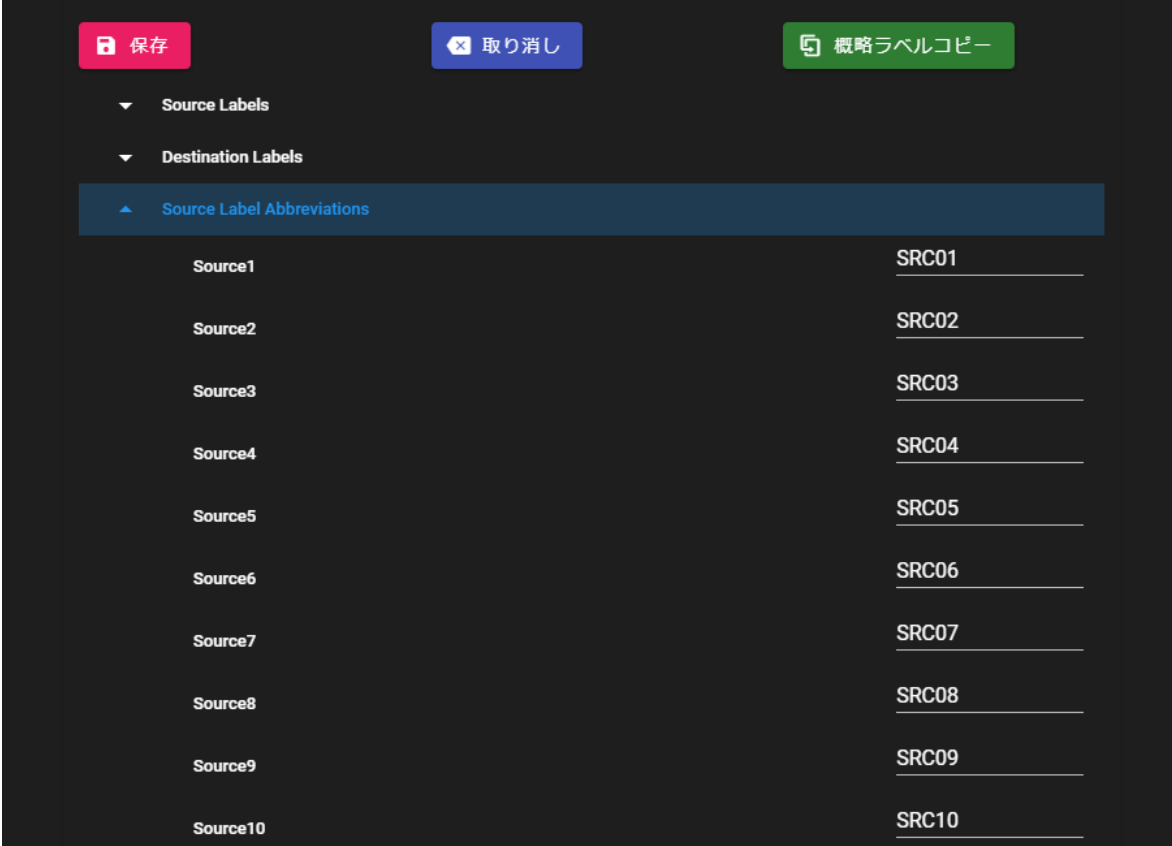
ラベル設定画面

ここで、設定したラベル名は、マルチビューと DualJog、TTDualJog、TT32 の詳細ラベル表示モードで使用されます。

使用できる文字は半角英数字 16 文字、漢字 8 文字までです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

3-3-7. ラベルタブ : Source/Destination Label Abbreviations

Source/Destination Label Abbreviations をクリックするとソース/デスト概略ラベル名の設定画面が表示されます。



Source Label	Abbreviation
Source1	SRC01
Source2	SRC02
Source3	SRC03
Source4	SRC04
Source5	SRC05
Source6	SRC06
Source7	SRC07
Source8	SRC08
Source9	SRC09
Source10	SRC10

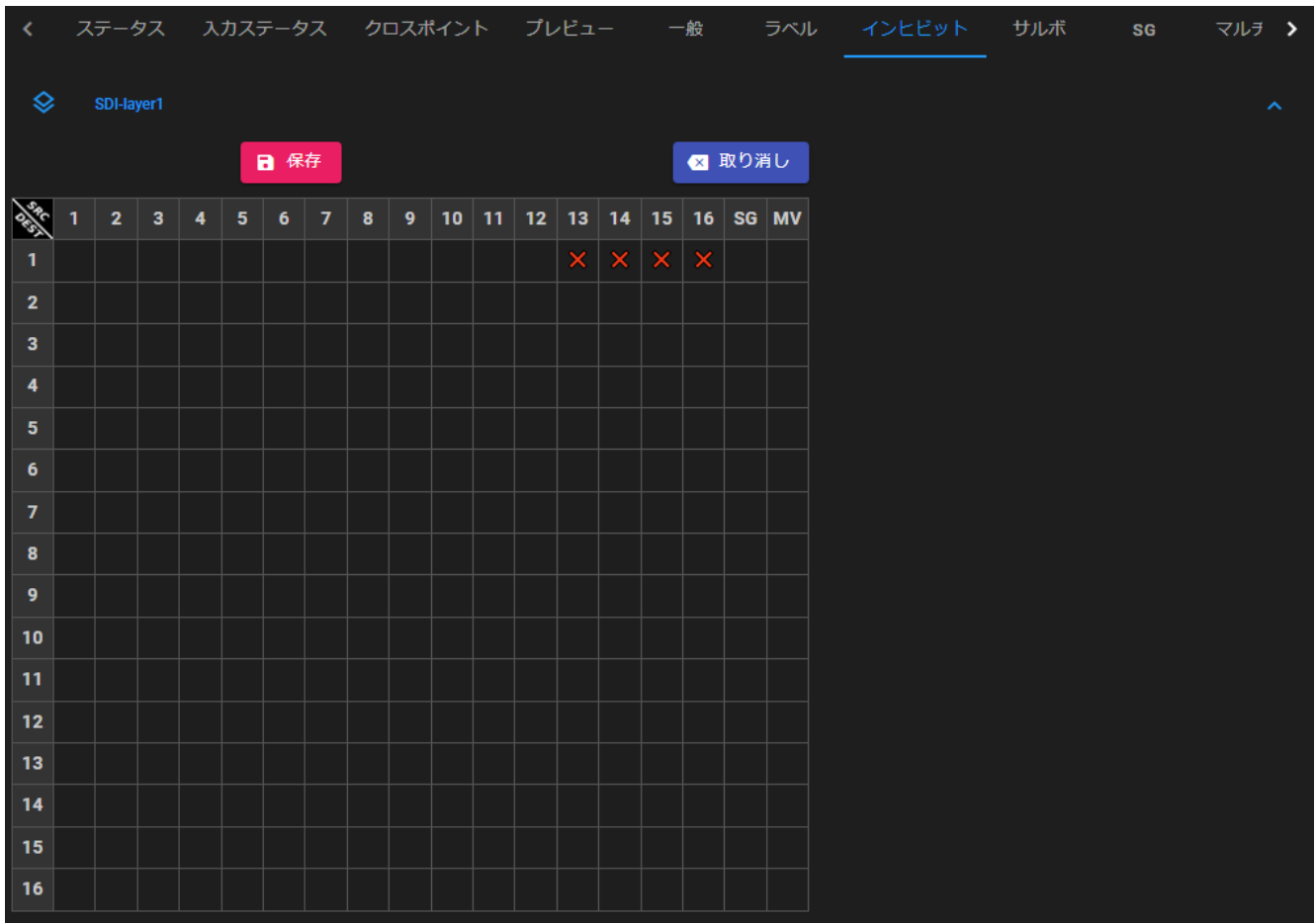
概略ラベル設定画面

ここで、設定した概略ラベル名は、LCD 搭載コントロールパネルの詳細ラベル表示モード以外で使用されます。

使用できる文字は半角英数字 8 文字、漢字 4 文字までです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

3-3-8. インビットタブ

インビットタブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



インビット設定画面

インビット（設定禁止）するクロスポイントをクリックすることにより、インビットを設定し、再度クリックすることによりインビット設定を解除できます。ドラッグ操作により範囲選択が可能です。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

インビット設定されたソースは DualJog のロータリエンコーダでソース選択の際、選択できないようにスキップされます。デスト 1 の例ではソース 12 の次はソース SG が表示され、ソース SG の前はソース 12 が表示されます。

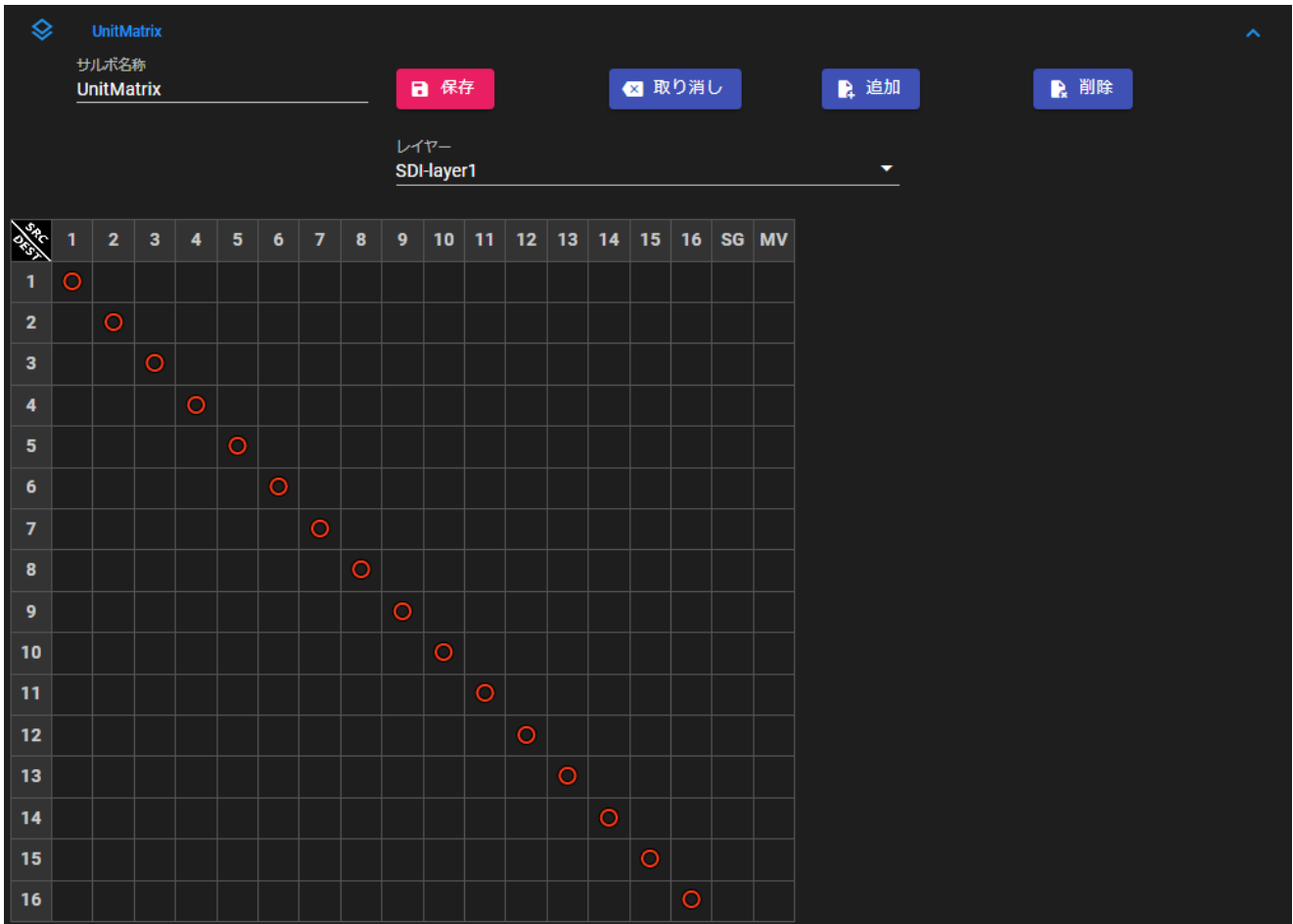
3-3-9. サルボタブ

サルボタブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



サルボ設定画面

初期設定では、UnitMarix という単位行列にマトリクス設定するサルボと、全てをカラーバーにする ColorBar というサルボが登録されています。新しいサルボを登録するときは追加または削除するサルボにサルボ名を入力後、追加ボタン、又は、削除ボタンを押してください。登録されているサルボの設定変更をする場合には、サルボ名をクリックしてください。



UnitMatrix

サルボ名称
UnitMatrix

保存

取り消し

追加

削除

レイヤー
SDI-layer1

SRC DST	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	SG	MV
1	○																	
2		○																
3			○															
4				○														
5					○													
6						○												
7							○											
8								○										
9									○									
10										○								
11											○							
12												○						
13													○					
14														○				
15															○			
16																○		

サルボ設定画面(UnitMatrix)

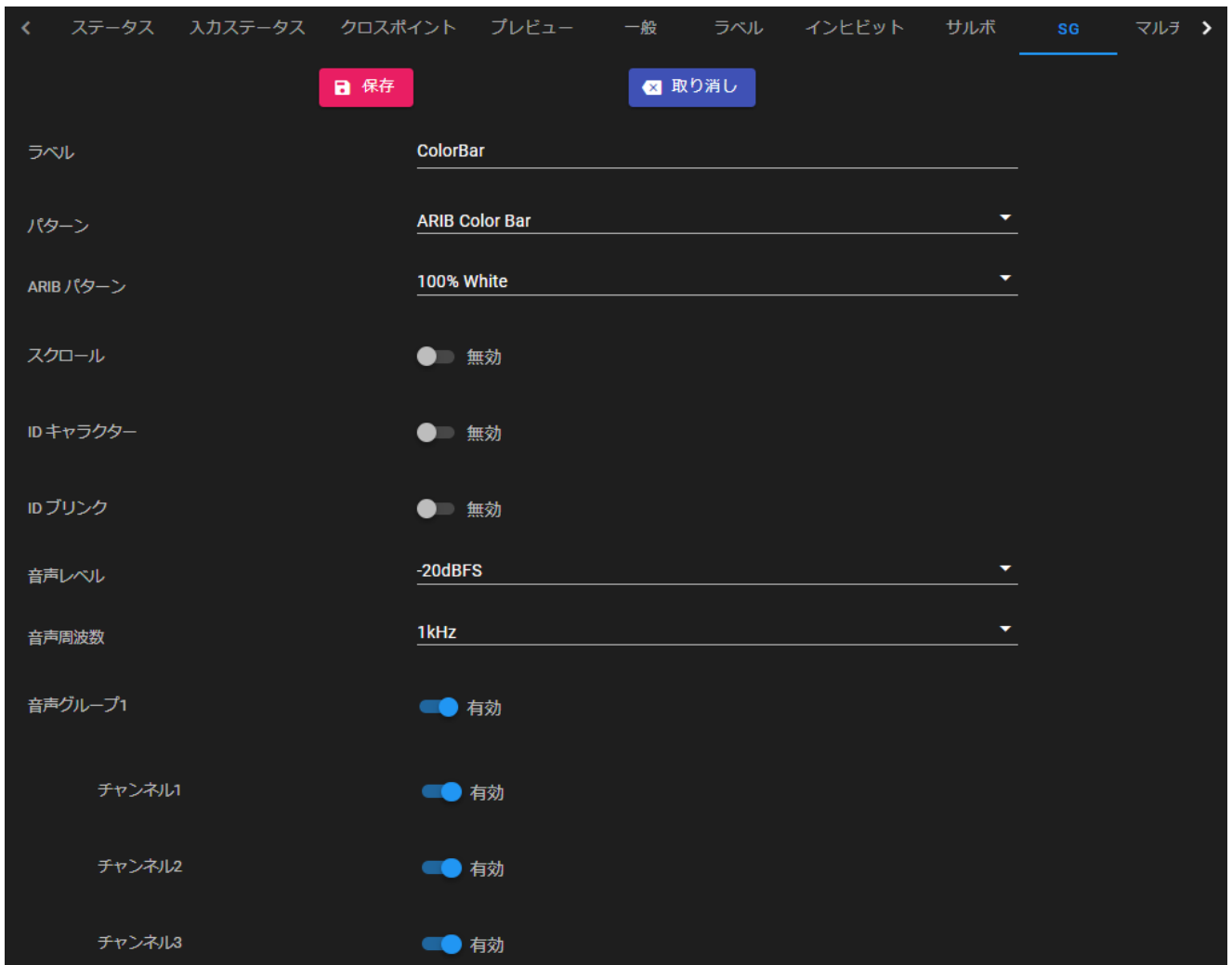
同時に切り替えるクロスポイントをクリックすることにより、サルボ設定し、再度クリックすることによりサルボ設定を解除できます。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

サルボの追加ボタンを押すと、異なるレイヤーや、異なるルーターを追加設定することができます。削除ボタンを押すと最後に追加したレイヤーが削除されます。

サルボ名は大文字、小文字を区別します。複数のサルボを登録する場合、同じサルボ名称にならないよう注意してください。

3-3-10. ビデオ系ルーター：SG タブ

SG(Signal Generator)タブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



SG 設定画面

・保存ボタン：

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・ラベル：

任意のラベル名を登録できます。

・パターン：

以下の6種類のパタンから選択可能です。

- (1) ARIB Color Bar
- (2) 100% Color Bar
- (3) 75% Color Bar
- (4) SMPTE Color Bar
- (5) Black
- (6) White

・スクロール：

画像のスクロールの有効・無効を選択します。

・ID キャラクター：

ID キャラクター表示の有効・無効を選択します。

ID キャラクターは Gen モデル名固定です。Gen1616-3G の場合は、「Gen1616-3G」と表示されます。

・ID ブリンク：

ID キャラクターのブリンク機能の有効・無効を選択します。

・音声レベル：

エンベデッド音声のレベルを -20dBFS, -40dBFS から選択します。

・音声周波数：

エンベデッド音声の周波数を 1kHz, 400Hz から選択します。

・音声グループ、チャンネル：

音声グループ 1,2 の各チャンネルの有効・無効を選択します。

3-3-1 1. ビデオ系ルーター：マルチビュータブ

マルチビュータブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

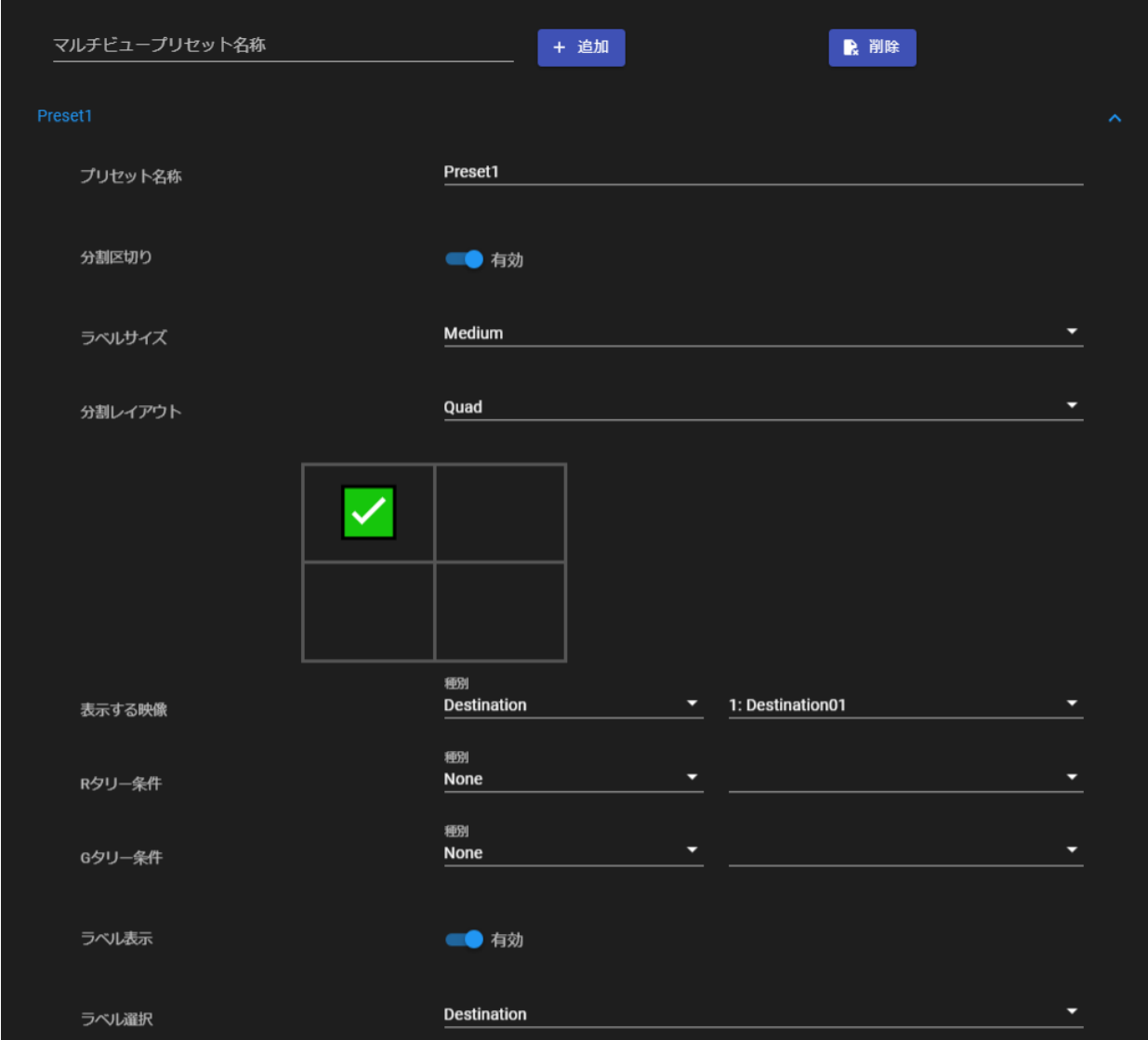


マルチビュー設定画面

- ・保存ボタン：
ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。
- ・取り消しボタン：
ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。
- ・マルチビュー出力：
マルチビュー出力の有効・無効を選択します。
- ・マルチビューラベル：
マルチビューに任意のラベルを登録できます。
ラベルは DualJog などのソース名表示などに使用します。
- ・スキャンモード：
スキャン方式をインターレース、プログレッシブから選択します。

・ラベル位置設定

- ・Quad 1/4 Size : 4 分割時のラベル位置高さをピクセル単位で指定します。
- ・10 Divisions 1/4 Size : 10 分割時の 1/4 サイズのラベル位置高さをピクセル単位で指定します。
- ・10 Divisions 1/16 Size : 10 分割時の 1/16 サイズのラベル位置高さをピクセル単位で指定します。
- ・16 Divisions 1/16 Size : 16 分割時のラベル位置高さをピクセル単位で指定します。
- ・Custom 1/1 Size : カスタムの分割レイアウト時の設定です。現バージョンでは 1/1 サイズのみになっています。



マルチビュープリセット設定例

・マルチビュープリセット名称 :

追加または削除したいマルチビュープリセット名称を入力して、追加ボタン、削除ボタンを押下してください。

・プリセット名称

設定されているプリセット名称です。名称を変更する場合、変更後保存ボタンを押下してください。

・分割区切り：

分割の境界線区切りの有効・無効を切り替えます。有効にすると、分割境界に 4 画素/ 4 ラインの境界線を描画します。
有効な場合、表示画像は上下左右 4 画素/4 ライン分クリップされます。

・ラベルサイズ：

マルチビューにラベル表示を行う場合の文字サイズを Large/Medium/Small 選択します。

・分割レイアウト：

分割レイアウトを選びます。項目の下はレイアウト図で、選択した箇所に√(チェック)マークが表示されます。

・表示する映像：

√マークの選択箇所に表示する映像を Source、Destination を選択し、ソース/デストを選択します。
表示する映像に Destination を選択した場合、ラベル表示で Source、Destination を選択することができます。

・R タリー条件：

R タリーを表示する条件を指定します。例えば、Source, 1 を選ぶと、Source1 が映った時 R タリーが表示されます。

・G タリー条件：

G タリーを表示する条件を指定します。例えば、GPI, マルチビュータリー名称(事前登録したもの)を選ぶと、その GPI イベントが発生した時に G タリー表示されます。

・ラベル表示：

分割画面のラベル表示の有効・無効を切り替えます。

・ラベル選択：

表示する映像が Destination の場合 Source, Destination から選択できます。
表示する映像が Source の場合は、Source のみ選択できます。

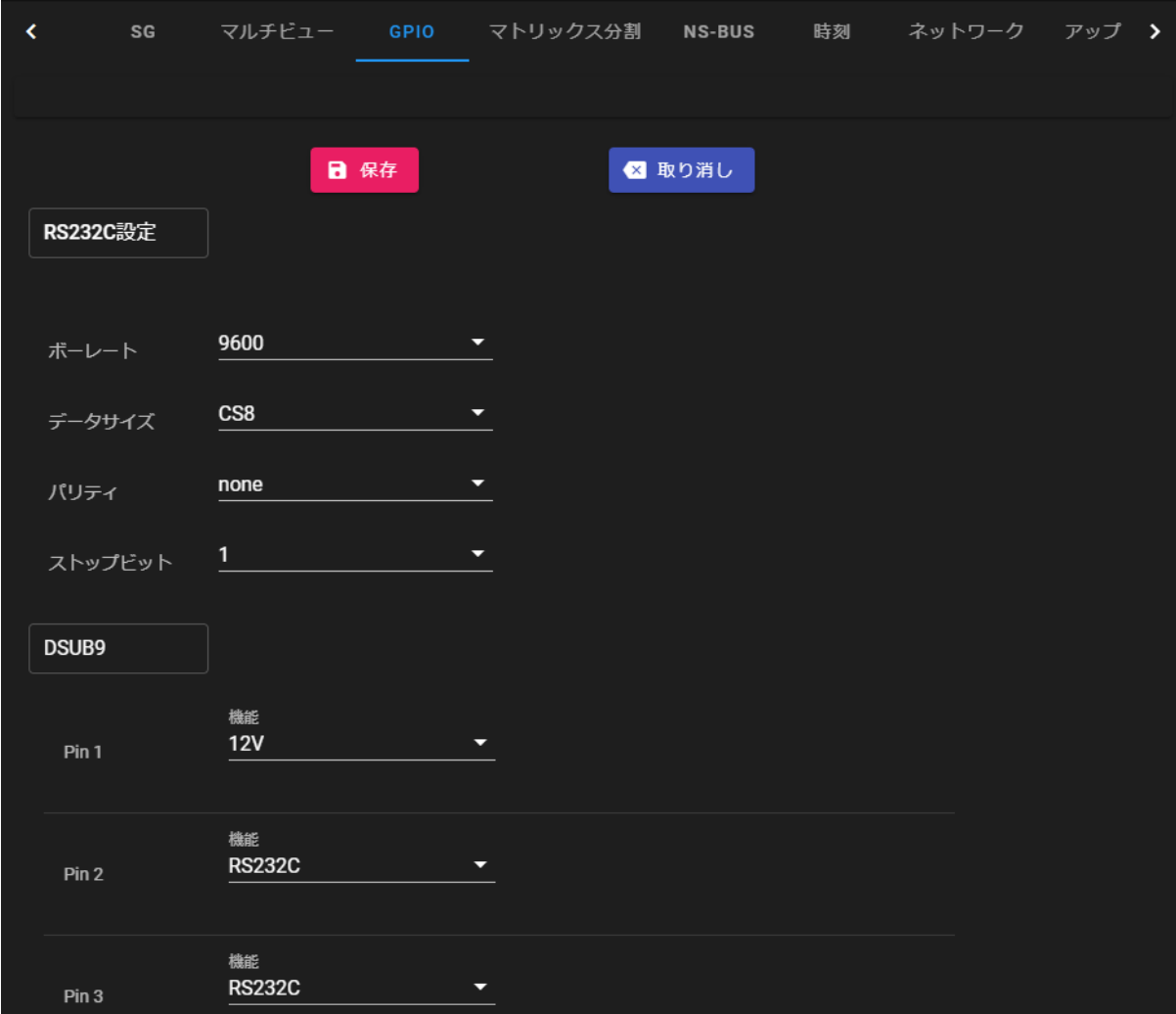
3-3-12. GPIOタブ

GPIO 搭載数はモデルごとに以下の通りです。

モデル	DSUB9	DSUB15-1	DSUB15-2
Gen1616-3G/12G/AES			
Gen1616-12G-Plain			
Gen3232-12G-Plain	○	×	×
Gen1616-AES-Plain			
Gen3232-AES-Plain			
Gen2424-3G/12G/AES			
Gen3232-3G/12G/AES	○	○	×
Gen4848-AES			
Gen6464-AES			
Gen4848-3G/12G	○	○	○
Gen6464-3G/12G			

GPIO タブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

DSUB9, DSUB15_1, DSUB15_2 の各ピンの設定が行えます。GPIO 数はモデルにより異なります。また、機能はハードウェア仕様上選択可能なものに限定されており、ピンによって選択肢が異なります。



The screenshot shows a web interface for GPIO configuration. At the top, there are navigation tabs: SG, マルチビュー, GPIO (selected), マトリックス分割, NS-BUS, 時刻, ネットワーク, アップ. Below the tabs are two buttons: a red '保存' (Save) button and a blue '取り消し' (Cancel) button. The main content is divided into two sections: 'RS232C設定' and 'DSUB9'. Under 'RS232C設定', there are four dropdown menus: 'ボーレート' (Baud Rate) set to 9600, 'データサイズ' (Data Size) set to CS8, 'パリティ' (Parity) set to none, and 'ストップビット' (Stop Bits) set to 1. Under 'DSUB9', there are three rows for Pin 1, Pin 2, and Pin 3. Each row has a '機能' (Function) dropdown menu. Pin 1 is set to 12V, Pin 2 is set to RS232C, and Pin 3 is set to RS232C.

DSUB9 設定画面

・保存ボタン :

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン :

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・ボーレート設定

RS-232C のボーレート(bps)設定を行います。

2400、4800、9600、19200、38400、115200 から選択します。

RS-232C を利用するためには、Pin2、Pin3 を RS-232C に設定してください。

・データサイズ設定

RS-232C のデータサイズ設定を行います。

CS5(5bit)、CS6(6bit)、CS7(7bit)、CS8(8bit)から選択します。

・パリティ設定

RS-232C のパリティ設定を行います。

none、even、odd から選択します。

・ストップビット設定

RS-232C のストップビット設定を行います。

1、2 から選択します。

DSUB9 ピンの設定可能な機能は以下の通りです。

DSUB9	Status Out	Tally In	Tally Out	Salvo	Multiview Switch	12V	RS-232C
pin1	○	○	○	○	○	○	×
pin2	○	○	○	○	○	×	○ TX
pin3	○	○	○	○	○	×	○ RX
pin4	○	○	○	○	○	×	×
pin5	×	×	×	×	×	×	×
pin6	○	○	○	○	○	×	×
pin7	○	○	○	○	○	×	×
pin8	×	×	×	×	×	×	×
pin9	×	×	×	×	×	×	×

※pin2, pin3 は RS-232C で利用する場合、ストレートケーブルでの接続を想定しています。pin2 を RS-232C 設定する場合、pin3 も RS-232C に設定する必要があります。

※pin5: GND 固定です。

※pin8: ALM 出力固定です。

※pin9: ALM COM 固定です。

Pin 1	機能 Tally In	▼	サブ機能 分配	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
	分配先コネクタ GPIO2	▼	分配先のピン 2	▼	<input type="checkbox"/> レベルトリガー
Pin 2	機能 Tally Out	▼	サブ機能 分配出力	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
					<input type="checkbox"/> レベル出力
Pin 3	機能 Tally In	▼	サブ機能 マルチビュータリー	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
	Tally1				<input type="checkbox"/> レベルトリガー
Pin 4	機能 Salvo	▼	サブ機能 UnitMatrix	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
					<input checked="" type="checkbox"/> エッジトリガー
Pin 5	機能 Multiview Switch	▼	サブ機能 UP	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
					<input type="checkbox"/> レベルトリガー
Pin 6	機能 Multiview Switch	▼	サブ機能 JUMP	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
	ジャンプ先 Multiview Preset1	▼			<input type="checkbox"/> レベルトリガー

DSUB15 設定画面

DSUB15-1 あるいは DSUB15-2 の設定可能な機能は以下の通りです。

DSUB15	Status Out	Tally In	Tally Out	Salvo	Multiview Switch
pin1 ～ pin10	○	○	○	○	○
pin11 ～ pin15	○	×	○	×	×

GPIO ピンの機能は以下の通りです。

・Status Out



Status Out 設定画面

Gen ルーターの電源、あるいはファンに異常があるとき出力します。出力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

・Tally In



Tally In 設定画面

TallyIn は Pin 入力がアクティブなとき、サブ機能により動作を選択します。

- ・分配: Tally Out 信号として GPIO ピンに出力します。ピンは複数選ぶことができます。
- ・マルチビューター: R タリー、G タリーとして表示制御に利用することができます。

入力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

・Tally Out



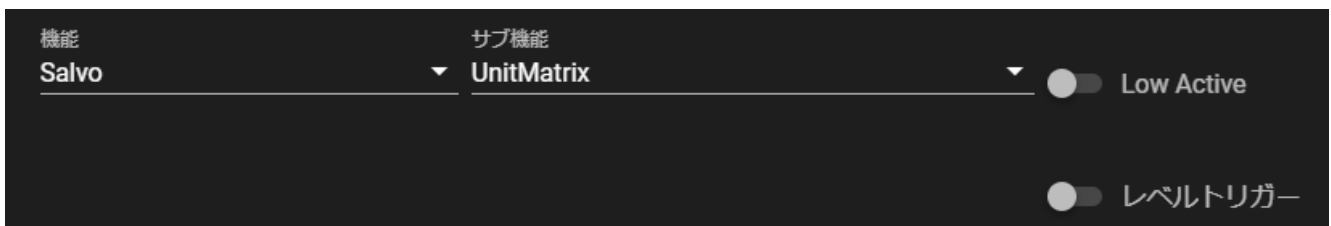
Tally Out 設定画面

Tally Out は、出力制御をサブ機能により動作を選択します。

- ・分配出力: Tally In の分配で指定されている場合、分配出力しか選択することができません。
- ・Router サルボの条件に一致したとき、出力します。

出力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

・Salvo



Router Salvo 設定画面

Salvo はルーターサルボを選択するもので、サブ機能でサルボ名称を選択します。

入力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

・Multiview Switch



Multiview Switch 設定画面

Multiview Switch はマルチビュー画面の Preset を変更するものです。

サブ機能により動作を選択します。

- ・UP: 次の Multiview Preset を表示します。最後の Preset 値にいる場合、最初の Preset 値になります。
- ・DOWN: 前の Multiview Preset を表示します。最初の Preset 値にいる場合、最後の Preset 値になります。
- ・JUMPTO: 指定された番号の Multiview Preset を表示します。Preset 数より大きな値を設定した場合、最後の Preset 値になります。

入力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

3-3-13. マトリックス分割タブ

マトリックスタブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



マトリックス分割タブ

・分割数：

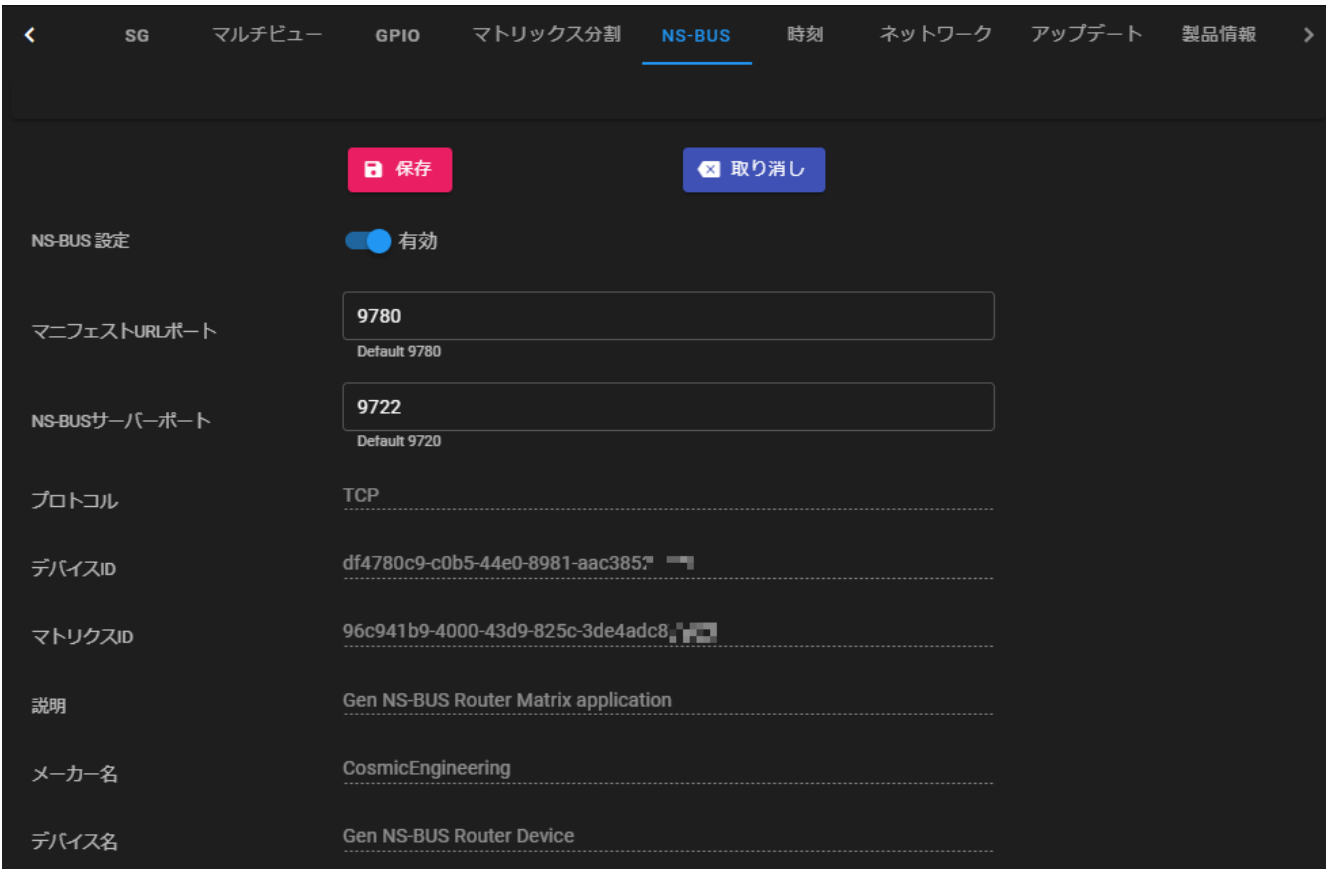
Router を複数レイヤーに区切ることができます。現バージョンでは 1 のみ対応です。

・レイヤー名 1:

レイヤー名称をつけます。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで可能です。レイヤー名はコントロールパネルの LCD 上で接続しているルーター表示に使用されます。

3-3-14. NS-BUS タブ

NS-BUS タブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



NS-BUS タブ 設定画面

- ・NS-BUS 設定 :
NS-BUS を利用する場合、有効に設定してください。
- ・マニフェスト URL ポート :
NS-BUS のマニフェストファイルを取得するポート番号を指定します。
- ・NS-BUS サーバーポート :
NS-BUS LSM と Gen ルーターの通信ポートを設定します。
- ・プロトコル :
TCP のみ対応します。
- ・デバイス ID:
Gen ルーターの UUID です。予め個体ごとに異なる値が設定されています。

・マトリクス ID:

Gen ルーターのレイヤーの UUID です。予め個体、レイヤーごとに異なる値が設定されています。

・説明

・メーカー名

・デバイス名

NS-BUS 接続時に、LSM(Live System Manager Station)に通知する Gen ルーターの諸元です。

3-3-15. 時刻タブ

時刻タブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



時刻タブ 設定画面

・保存ボタン :

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン :

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・方式 :

NTP, LTC, LTC-with-date から選びます。

・NTP サーバー :

使用する NTP サーバーを指定します。

・LTC ソース

方式に LTC、LTC-with-date を選択した場合、時刻検出を行う SRC を選択します。

・日付フォーマット

方式に LTC-with-date を選択した場合、日付 Format を Leitch、あるいは SMPTE ST309 から選択します。

・GEN に設定ボタン :

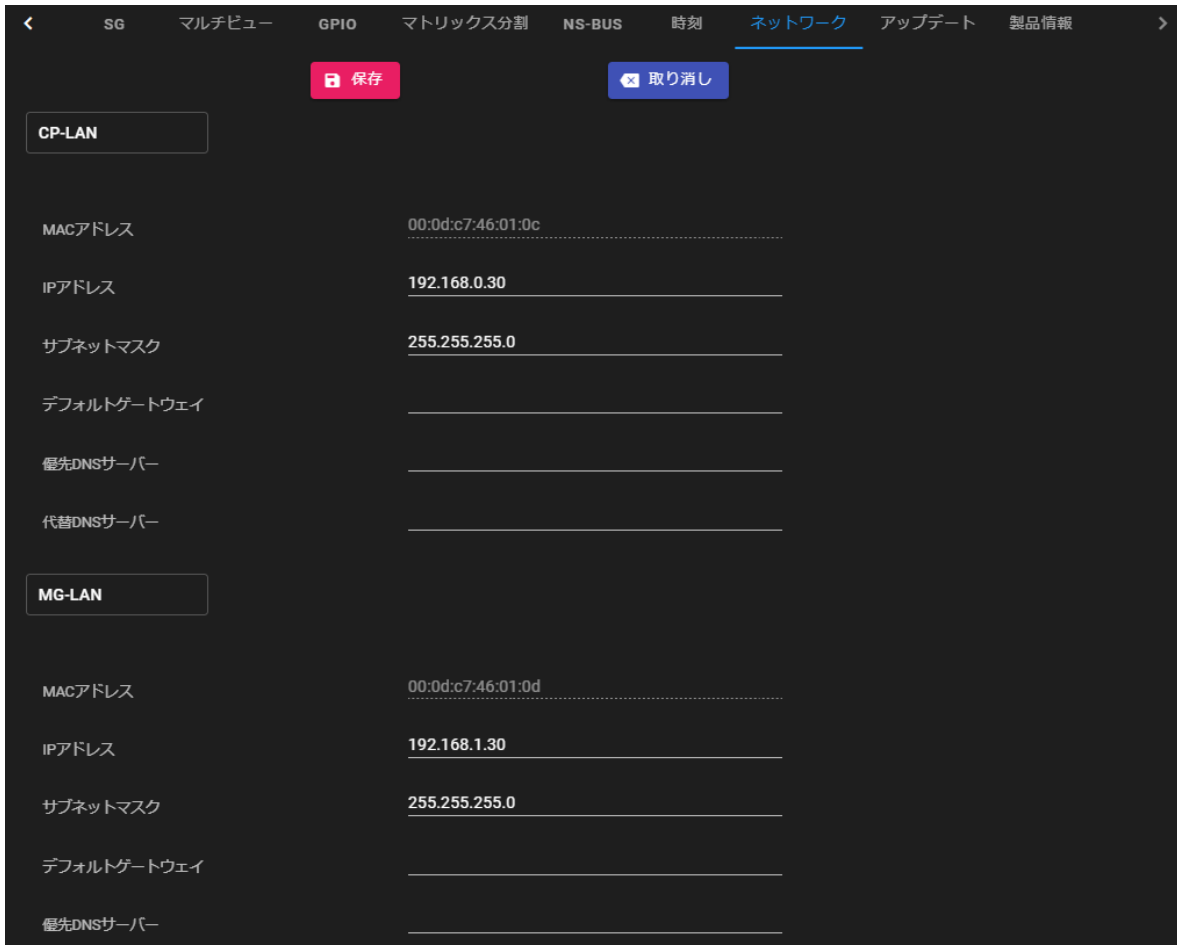
ボタンを押すと、ボタン下の設定時刻を Gen に設定します。

・現在時刻取得ボタン :

ボタンを押すと、PC の現在時刻を設定時刻にコピーします。

3-3-16. ネットワークタブ

ネットワークタブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



The screenshot shows a web interface for network configuration. At the top, there are navigation tabs: SG, マルチビュー, GPIO, マトリックス分割, NS-BUS, 時刻, ネットワーク (selected), アップデート, and 製品情報. Below the tabs are two buttons: a red '保存' (Save) button and a blue '取り消し' (Cancel) button. The main content area is divided into two sections: CP-LAN and MG-LAN. Each section contains the following fields:

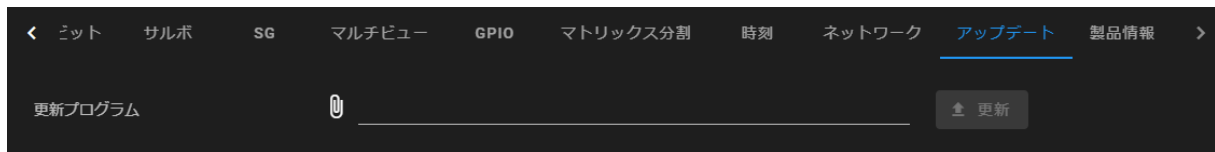
- MACアドレス: 00:0d:c7:46:01:0c (for CP-LAN) and 00:0d:c7:46:01:0d (for MG-LAN)
- IPアドレス: 192.168.0.30 (for CP-LAN) and 192.168.1.30 (for MG-LAN)
- サブネットマスク: 255.255.255.0 (for both)
- デフォルトゲートウェイ: (empty)
- 優先DNSサーバー: (empty)
- 代替DNSサーバー: (empty)

ネットワーク設定タブ

CP-LAN, MG-LANのネットワーク設定を行うことができます。設定を変更し、保存ボタンをクリックすると本体に保存されネットワーク設定を再設定します。保存・適用には数秒間かかり、その間イーサネットを使用した通信はできなくなります。MG-LANのIPアドレスを変更した場合、保存後は新しいIPアドレスを指定し接続しなおす必要があります。また、保存せずに取り消しボタンをクリックすると現在の設定値に戻ります。

3-3-17. アップデートタブ

アップデートタブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



アップデートタブ

・更新プログラム：

アップデートに使用するファイルを選んで、更新ボタンを押すとプログラムが更新されます。FPGA のアップデートの場合、数分かかります。

3-3-18. 製品情報タブ

製品情報タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



製品情報タブ

- ・製品名 :
製品名が表示されます。
- ・シリアル番号 :
製品シリアル番号が表示されます。
- ・ハードウェア :
ハードウェア バージョンが表示されます。
- ・ファームウェア :
ファームウェア バージョンが表示されます。
- ・HTTP サーバー :
HTTP サーバーソフトウェア バージョンが表示されます。
- ・WEB コントロール :
WEB コントロールソフトウェア バージョンが表示されます。

3-4. オーディオ系ルーターの設定

オーディオ系ルーターでは、ステータスタブ、入力ステータスタブ、一般タブ、SGタブ、レート変換タブがビデオ系ルーターと異なりますが、それ以外はビデオ系ルーターと同じ内容が表示されます。

3-4-1. オーディオ系ルーター:ステータスタブ

ステータスタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



	12V出力	出力電圧(V)
電源 A	OK	12.05
電源 B	OK	11.98
	ステータス	温度(°C)
CPU温度	OK	44
FPGA温度	OK	48


オーディオ系ルーター ステータスタブ

オーディオ系ルーターは全機種ファン非搭載のため、ファン項目はありません。そのため、コントロールパネルの ALM LED も点灯しません。

- ・電源 A,B : 電源 A,B の 12V 出力の状態と出力電圧値を表示します。
- ・CPU 温度 : 搭載 CPU の温度状態と温度を表示します。
- ・FPGA 温度 : 制御 FPGA (搭載デバイス) のチップ内温度の状態と、温度を表示します。

3-4-2. オーディオ系ルーター:入カステータスタブ

入カステータスタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



入力	ステータス	フォーマット
Reference	Lock	525159
1: Source01	Lock	48kHz
2: Source02	Lock	48kHz
3: Source03	Lock	48kHz
4: Source04	Lock	48kHz
5: Source05	Unlock	—
6: Source06	Unlock	—
7: Source07	Unlock	—
8: Source08	Unlock	—

オーディオ系ルーター:入カステータスタブ画面

リファレンス入力、ソース入力の状態を表示します。リファレンス入力は BB/TriSync 入力時は、ビデオフォーマットを表示し、DARS 入力時は DARS サンプル周波数を表示します。それぞれ、信号にロックした場合は Lock、ロックできなかったときは Unlock と表示されます。ソース入力は、サンプル周波数と、AES/EBU 信号の Lock/Unlock 状態を表示します。

3-4-3. オーディオ系ルーター:一般タブ

一般タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。SNMP 設定/設定のバックアップ・復元、ログ取得についてはビデオ系ルーターを参照してください。



一般タブ画面

・ルーター名称 :

ルーター名称が設定できます。初期設定値は、ルーターモデル名 + MAC アドレス下位 2 桁です。

・ルーターID :

ルーターの ID を設定します。Gen システムでのルーターID は、ルーターの識別子として使用されますので、同じネットワーク内では、重複しない ID を設定します。設定できる ID は 0~5 で、初期設定は 0 です。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

・サンプリング周波数 :

同期モード時のサンプリング周波数を設定します。設定できるサンプリング周波数は 48kHz, 96kHz です。リファレンスが DARS の場合は、出力サンプリング周波数は DARS と同じ周波数になりますが、60kHz 以下では 48kHz に、60kHz を越える場合は 96kHz に設定してください。

・切替モード :

同期モード/非同期モードを選択します。

非同期モードは、入力された信号を単純に切り替えるためノイズが出力されることがあります。

同期モードでは、全ての入力をデコードし、クロスポイント切替時に、フェードアウト処理を行い、無音になった状態で信号を切り替え、フェードイン処理を行います。このため、切り替え時ノイズが発生しません。同期モードではすべての入力がリファレンス信号に同期している必要があります。レート変換回路が 16 回路搭載されていますので非同期信号はレート変換回路を有効にすることで同期化することができます。レート変換の設定についてはレート変換タブを参照してください。

3-4-4. オーディオ系ルーター: SG タブ

SG タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



オーディオ系ルーター: SG タブ画面

・オシレータラベル :

コントロールパネルで SG を選択したときのラベル名称を設定します。コントロールパネル側での表示制約により、半角英数字 8 文字、全角 4 文字以内で設定してください。

・無音ラベル :

コントロールパネルで無音(Silent)を選択したときのラベル名称を設定します。コントロールパネル側での表示制約により、半角英数字 8 文字、全角 4 文字以内で設定してください。

・CH1 レベル :

-63~ 0 dBFS の範囲で選択できます。**-63 を選択するとミュートになります。**

・CH1 周波数 :

400Hz/800Hz/1kHz/2kHz から選択可能です。

・CH2 レベル :

-63~ 0 dBFS の範囲で選択できます。**-63 を選択するとミュートになります。**

・CH2 周波数 :

400Hz/800Hz/1kHz/2kHz から選択可能です。

3-4-5. オーディオ系ルーター：レート変換タブ

レート変換タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



レート変換タブ画面

・保存ボタン：

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

レート変換を行うソースをクリックすることによりレート変換を有効、無効に設定できます。

✓マークが入っているソースがレート変換有効で、チェックマークの入っていないソースはレート変換が無効に設定されています。

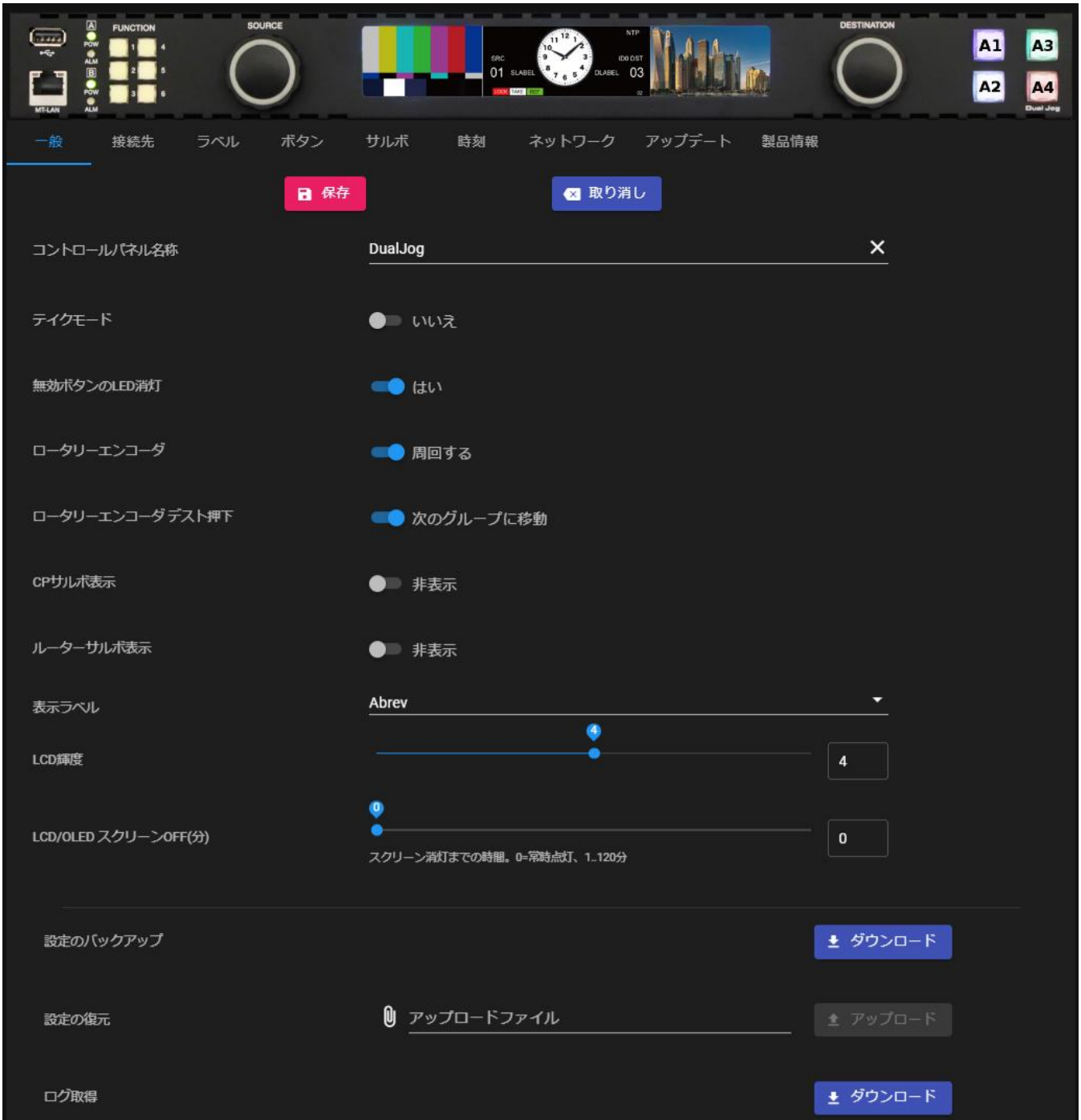
レート変換は最大 16 ソースまで設定できます。

3-5. コントロールパネルの設定

例は DualJog としますが、LCD16、LCD32、TT32、TTDualJog が同様に設定可能です。

3-5-1. 一般タブ

一般タブをクリックすると、DualJog の場合、以下のタブが表示されます。



The screenshot shows the 'General' (一般) settings page for the DualJog control panel. At the top, there are physical control elements: a 'FUNCTION' keypad with buttons 1-6, 'SOURCE' and 'DESTINATION' rotary dials, a central display showing a clock and various indicators (SRC 01, LABEL, IDG DST, DLABEL 03), and four buttons labeled A1, A2, A3, and A4. Below these is a navigation bar with tabs: 一般 (selected), 接続先, ラベル, ボタン, サルボ, 時刻, ネットワーク, アップデート, 製品情報. The main settings area includes:

- 保存** (Save) and **取り消し** (Cancel) buttons at the top.
- コントロールパネル名称** (Control Panel Name): DualJog
- テイクモード** (Take Mode): いいえ (No)
- 無効ボタンのLED消灯** (LED Off for Inactive Buttons): はい (Yes)
- ロータリーエンコーダ** (Rotary Encoder): 周回する (Rotate)
- ロータリーエンコーダデスト押下** (Rotary Encoder Dest Push): 次のグループに移動 (Move to next group)
- CPサルボ表示** (CP Servo Display): 非表示 (Hidden)
- ルーターサルボ表示** (Router Servo Display): 非表示 (Hidden)
- 表示ラベル** (Display Label): Abrev
- LCD輝度** (LCD Brightness): Slider set to 4
- LCD/OLED スクリーンOFF(分)** (LCD/OLED Screen Off (min)): Slider set to 0. Note: スクリーン消灯までの時間。0=常時点灯、1..120分 (Time until screen goes off. 0=Always on, 1..120 min)
- 設定のバックアップ** (Backup Settings): **ダウンロード** (Download)
- 設定の復元** (Restore Settings): **アップロードファイル** (Upload File) and **アップロード** (Upload)
- ログ取得** (Get Log): **ダウンロード** (Download)

DualJog 一般タブ画面

・保存ボタン :

ボタンを押すと、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン :

ボタンを押すと、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・コントロールパネル名称 :

コントロールパネルに任意の名前をつけることができます。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字の範囲で設定してください。

初期設定値はモデル名称 + MAC アドレス下位 2 桁です。

・テイクモード :

はいを選択したとき、TAKE ボタンを押すことによりルーターに未発行のクロスポイントコマンドを送信します。複数のクロスポイント設定変更し、まとめて切り替えることができます。

いいえを選択するとルーターのクロスポイント設定変更した時点でクロスポイントコマンドを送信します。ロータリーエンコーダで Source、Destination を選択するコントロールパネルの場合、左側のロータリーエンコーダで Source を選択し、押下するとクロスポイントコマンドが送信されます。

TAKE モードが有効なとき、LCD 搭載のコントロールパネルは画面上に TAKE の表示されます。

・無効ボタンの LED 消灯:

はいを選択すると、押下しても機能しないボタンが消灯されます。例えば、パネルロックを設定すると、パネルロック解除と現在有効な設定のボタン以外は消灯します。

・ロータリーエンコーダ

Source、Destination のロータリーエンコーダがそれぞれの最初、最後にあるときの動作設定を行います。

「周回する」のとき、最初→最後、最後→最初と Source、Destination 番号が周回します。

「終端で止まる」のときは、周回はしません。

・ロータリーエンコーダ デスト押下

Destination のロータリーエンコーダ押下時の動作設定を行います。

「現デストの要求削除」のとき、テイクモードで現在未発行のクロスポイントコマンドがある場合、キャンセルします。

「次のグループに移動」のとき、接続先 1 のクロスポイント設定、接続先 1 のルーターサルボ設定、接続先 2 のクロスポイント設定、接続先 2 のルーターサルボ設定、DualJog の CP サルボ設定の順でグループを移動します。CP サルボ表示、ルーターサルボ表示がない場合、それぞれのグループはロータリーエンコーダには表示されません。

・CP サルボ表示

「表示しない」のとき、ロータリーエンコーダで CP サルボリストを表示しません。

「表示する」のとき、ロータリーエンコーダで CP サルボリストを表示します。

・ルーターサルボ表示

「表示しない」のとき、ロータリーエンコーダでルーターサルボリストを表示しません。

「表示する」のとき、ロータリーエンコーダでルーターサルボリストを表示します。

コントロールパネルが複数のルーターに接続されている場合、全てのルーターの表示を行わないか、行うかの設定となります。

個別のルーターごとに表示設定はできません。

・表示ラベル

クロスポイント一覧表示モードのときの表示設定を行います。

1. Number: 数字で表します
2. Abbrev: Source/Destination Label Abbreviation で表します。
3. Normal: Source/Destination Labels で表します。

・LCD 輝度

LCD の明るさを 1 ～ 8 の 8 段階で調整します。1 が最も暗く、8 が最も明るくなります。

・LCD/OLED スクリーン OFF(分)

最後に操作をしてから、指定分後に LCD/OLED 表示を OFF にします。0 は常時点灯、1～120 分の間で設定することが可能です。

スクリーン OFF のとき、ロータリーエンコーダやボタンを操作すると、点灯状態に戻ります。

・設定のバックアップ

現在のコントロールパネル設定を保存します。

・設定の復元

設定のバックアップで保存されたファイルを用いて、設定を復元します。ファイル選択後、アップロードボタンを押してください。

・ログ取得

コントロールパネルから発行したコマンドや内部設定変更のログが取得できます。

コントロールパネルのログは揮発メモリ上で保存しているため、電源 on/off やリブートで消失します。

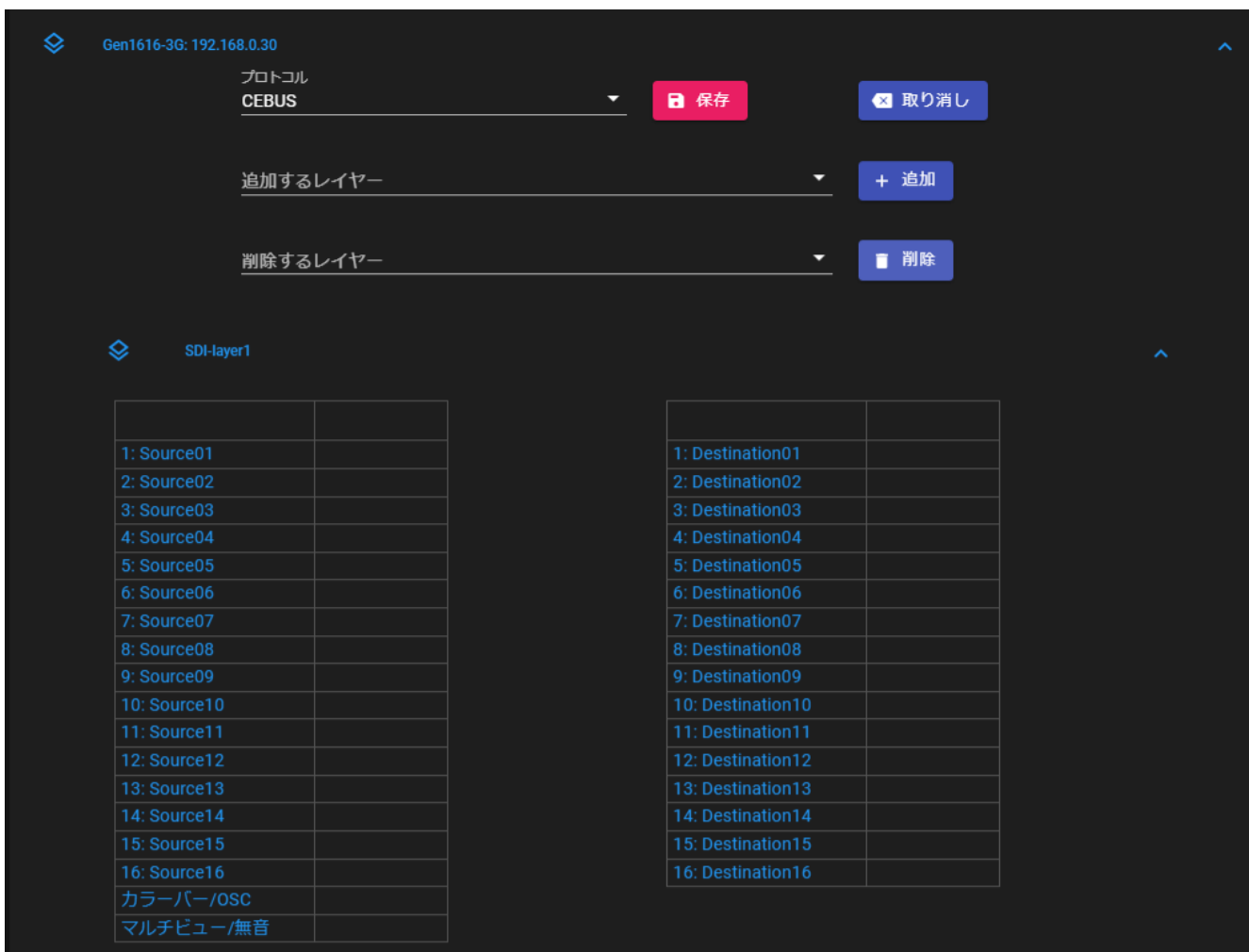
3-5-2. 接続先タブ

接続先タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。



接続先タブ設定画面

追加するルーター選択し、追加ボタンを押すとルーターが追加され、削除するルーターを選択し、削除ボタンを押すとルーターが削除されます。追加したルーターをクリックするとルーターの詳細設定画面が表示されます。



接続先ルーター詳細設定画面

・プロトコル

接続先ルーターとのプロトコルを指定します。現在は CEBUS のみの対応です。

・レイヤー

指定レイヤーのソース、Destination に対して本コントロールパネルからの操作をインビット（禁止）設定することができます。インビットに設定する、ソース番号、Destination 番号をクリックし、インビット設定にし、再度クリックすることによりインビット設定を解除できます。

3-5-3. ラベルタブ

ラベルタブをクリックすると、以下の画面が表示されます。

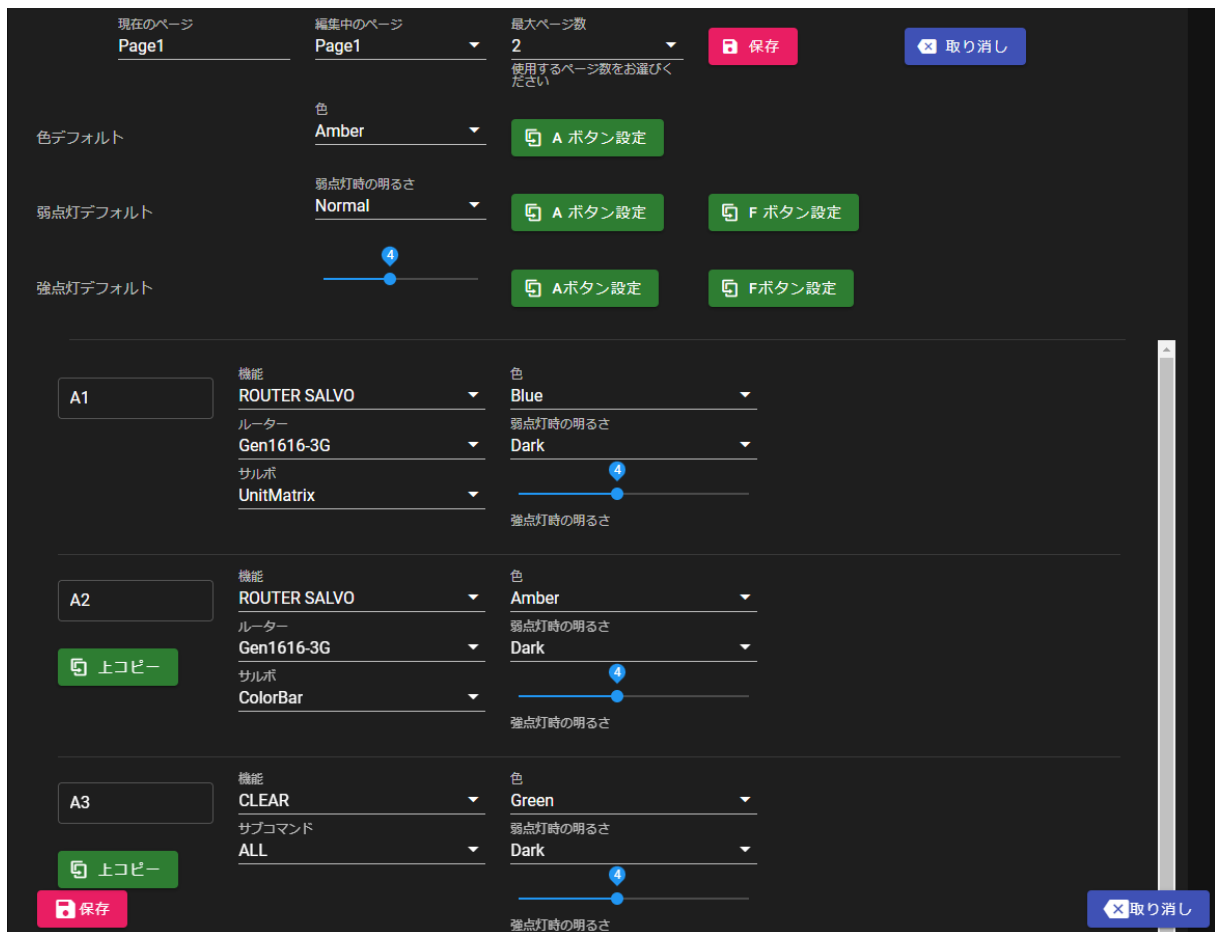


ラベルタブ設定画面

- ・ルーターのラベル設定と同様の設定ができます。
- ・コントロールパネルでラベル設定を行った場合、そのコントロールパネル上ではルーターのラベル設定より優先して使用されます。

3-5-4. ボタンタブ

ボタンタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



ボタン設定画面

現在のページにコントロールパネルの現在のページ番号が表示されます。まず、最大ページ数に本コントロールパネルで使用するページ数を選択します。次に編集中のページに、設定するページを選択し、各ボタンの設定をページごとに行います。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、コントロールパネルに設定が保存されます。

- ・色デフォルト
- ・弱点灯デフォルト
- ・強点灯デフォルト

A ボタン群、B ボタン群、F ボタン群などのデフォルト設定を行うものです。

色デフォルト Amber を指定し、A ボタン設定を押下すると、A ボタン全ての色が Amber に変更されます。

変更を反映させるためには、保存ボタンを押下してください。

- ・上コピーボタン

上のボタン設定をコピーするものです。A2 ボタン下の上コピーボタンを押下すると、A1 ボタンの内容がコピーされます。

設定を反映させるためには、保存ボタンを押下してください。

・機能

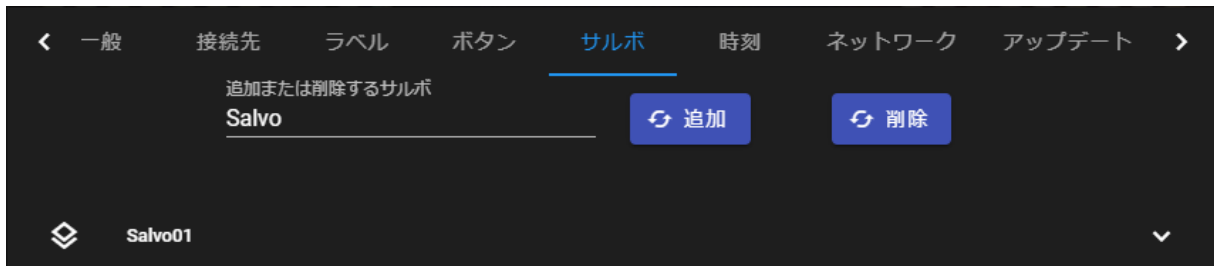
各ボタンに対して設定できる機能一覧を以下に示します。汎用ボタンは、色で点灯色を Green(緑)、Red(赤)、Amber(黄)、Blue(青)から選択し、弱点灯時の明るさを Normal、Dark から選択します。強点灯時の明るさはスライダーバーを用いて 8 段階の調整が可能です。ファンクションボタンの点灯色は固定のため色の設定項目はありません。

機能	内容
NONE	割り当て機能なし
BUS	指定 Destination に指定ソースを割り当てます。ルーター、レイヤー、Source、Destination を設定します。Source、Destination はルーターのラベル名が番号と共に表示されます。
CP SALVO	指定したコンパネサルボを実行します。登録されているサルボ名を設定します。
ROUTER SALVO	指定したルーターサルボを実行します。ルーターID、登録されているサルボ名を設定します。
SRC N	ソース番号を指定。
DEST N	Destination 番号を指定。
NUMBER	Source 番号、又は、Destination 番号を指定します。 この機能を利用する場合、別途、SRC、DEST 機能をいずれかのボタンに割り当てることが必要です。 また、NUMBER を指定した場合、ボタン色、明るさの設定は SRC、DEST の設定に準拠します。 例えば、SRC に Amber を選択している場合、SRC ボタンを押下すると、全ての NUMBER ボタンは全て Amber になります。
SRC	NUMBER で設定されたボタンを Source に割り当てます。
DEST	NUMBER で設定されたボタンを Destination に割り当てます。
CLEAR	操作をクリアします。全操作をクリア (ALL) するか、現在表示しているコマンドをクリアするか (CURRENT) 指定します。
TAKE	クロスポイントを切り替えます。テイクモード時に有効となり、テイクモードオフ時にはクロスポイントを切り替えるごとに強点灯後、自動で弱点灯になります。
TAKE MODE SWITCH	押す度にテイクモードをオン、オフします。テイクモード時は強点灯します。 ※コントロールパネルの電源投入時の設定は一般タブのテイクモード設定となります。
PANEL LOCK	押す度にパネルロック状態と通常状態を切り替えます。パネルロック状態では、強点灯します。
DEST LOCK	押す度に Destination ロック状態と通常状態を切り替えます。Destination ロック状態では、強点灯します。本コントロールパネルで現在選択している Destination を本コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_LOCAL、本コントロールパネルで現在選択している Destination を他のコントロールパネルからの操作をロックする LOCK_OTHER、本コントロールパネルで現在選択している Destination を全コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_ALL を設定します。
DEST LOCK N	押す度に指定した Destination 番号をロック状態と通常状態を切り替えます。Destination ロック状態では、強点灯します。ルーター、レイヤー、ロックモード、Destination 番号を設定します。
PAGE	ページを変更します。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプするページを設定します。

機能	内容
MVU PRESET	<p>接続先がビデオ系ルーターでマルチビュー機能がある場合、マルチビューのプリセット番号を切り替えます。</p> <p>UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプするプリセット番号を設定します。</p> <p>例えばルーターが 3 つのプリセットを持つ場合、以下のような動作となります。</p> <p>UP: PRESET1 → PRESET2 → PRESET3 → PRESET1</p> <p>DOWN: PRESET1 → PRESET3 → PRESET2 → PRESET1</p> <p>JUMPTO: PRESET1、PRESET2、PRESET3 のいずれかを指定。PRESET4 を指定した場合、最大値の PRESET3 が設定されます。</p>
DISP MODE	<p>押す度に表示モードを切り替えます。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプする表示モードを設定します。</p>
TEST ASG	<p>オーディオルーターの SG(内蔵オシレータ)の CH1、CH2 を独立して ON/OFF/TOGGLE を割り当てることができます。</p> <p>TOGGLE を設定した場合、ボタン押下ごとに ON→OFF→ON となります。</p>

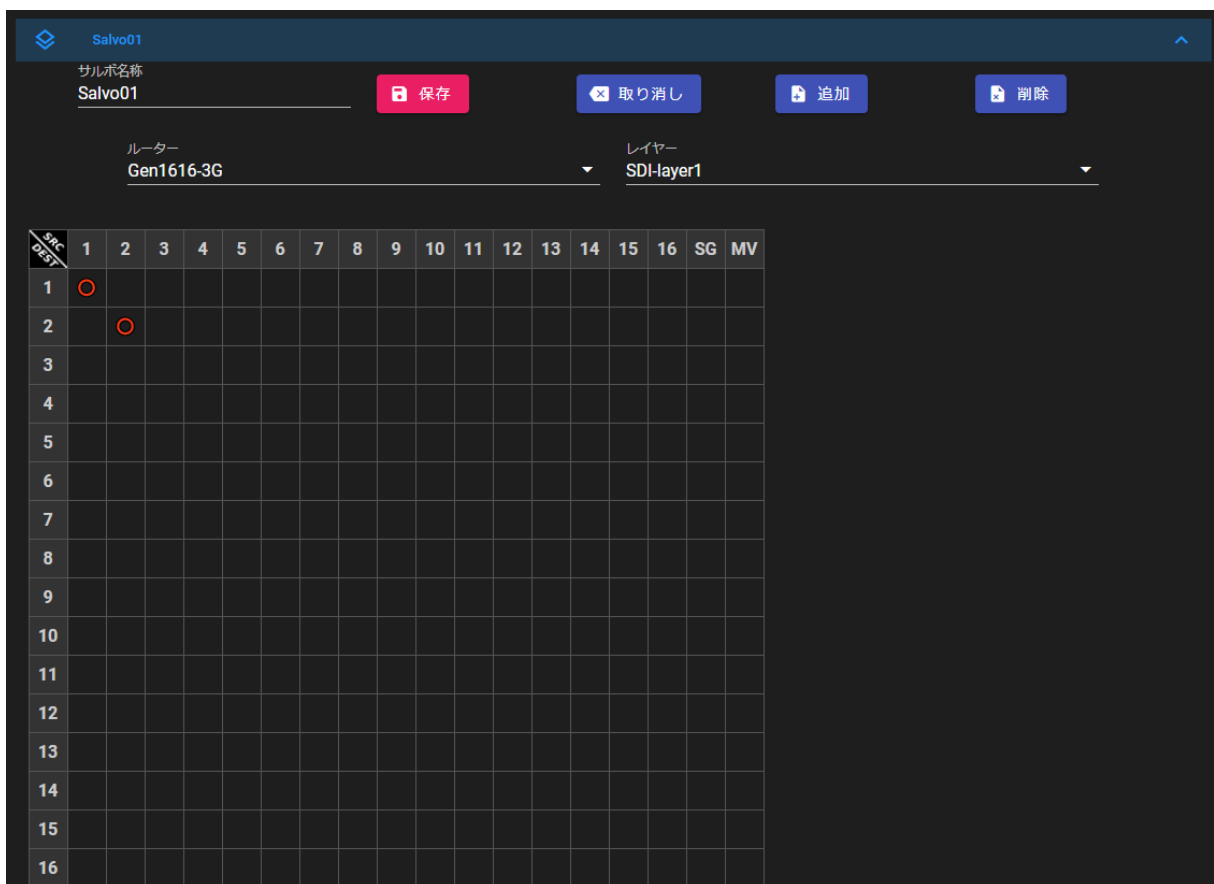
3-5-5. サルボタブ

ボタンタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。



DualJog サルボタブ

新しいサルボを登録するときは追加または削除するサルボにサルボ名を入力後、追加ボタン、又は、削除ボタンを押してください。登録されているサルボの設定変更をする場合には、サルボ名をクリックしてください。



サルボ設定画面

同時に切り替えるクロスポイントをクリックすることにより、サルボ設定し、再度クリックすることによりサルボ設定を解除できます。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

サルボの追加ボタンを押すと、異なるレイヤーや、異なるルーターを追加設定することができます。削除ボタンを押すと最後に追加したレイヤーが削除されます。

3-5-6. 時刻タブ

ルーターの時刻タブと同様の設定ができます。

3-5-7. ネットワークタブ

ルーターのネットワークタブと同様の設定ができます。

3-5-8. アップデートタブ

ルーターのアップデートタブと同様に、ソフトウェアの更新が可能です。

3-5-9. 製品情報タブ

ハードウェアバージョンを除きルーターの製品情報タブと同様の項目が確認できます。

4. お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp